岩田書院

地方史情報 094

2009年12月

都市民俗基本論文集の刊行にあたって　倉石忠彦ほか

都市の民俗について今まで多くのことが語られてきた。都市民俗は、村落の民俗と違って「風俗」にすぎないとか、いや、都市にも村落の民俗が持ち込まれて都市の民俗として定着しているとか、あるいは、都市民俗は都市文化や下位文化（サブカルチャー）、そして大衆文化と見分けがつかなくなって、現代民俗論の中に回収されていくだろう……などである。

今回、われわれ４人の編者はそれぞれの観点から都市民俗学あるいは都市民俗論を扱った論文のリーディングスを編纂した。このシリーズは、実は明石書店から刊行した『都市民俗生活誌』（全３巻、2002～05年）と対をなしている。もともとは、都市民俗生活誌と都市民俗論を一体として『日本都市民俗生活誌集成』として企画・編集された経緯があった。（中略）われわれ４人は、長い時間をかけて「都市民俗」について議論を重ねてきた。従来の民俗学内部から「都市の民俗」に焦点を合わせようとする視点、また従来の民俗学がおき忘れてきたさまざまな都市民俗の諸相に焦点を合わせようとする視角、地理学や歴史民俗学の視点から空間がもつ意味を民俗として把握しようとする視点、また都市社会学や都市人類学・生活学・考現学など多様な都市学の発展から都市民俗を再考しようとする観点など、論点も多岐にわたっている。

もちろん本シリーズは、基本的には都市民俗について論じられた重要な論文の精選集である。柳田国男から今和次郎・宮本常一・宮田登に至るまで、多くの学者が都市の民俗について論じてきた。後学の者たちは、これらの先行研究をまず読むことから出発しなければならない。しかし、今回のシリーズでは単なる論文のリーディングスに止まらず、各編者は解説において論文の位置付けを試みながら、独自の都市民俗論を構想している。また八木橋伸浩・内田は、別巻において詳細な文献目録を作成し、最近の論者にいたる都市民俗研究の系譜を見通せるようになった。

「都市民俗」についての論考が目立った1970年代、80年代に比べると、最近では改めて「都市の民俗」について論じる傾向は少なくなっているかもしれない。それでも近年着実にこの分野の研究は質・量ともに層を厚くしている。われわれは、都市民俗論が多様な展開を示しながら発展してきている今日の状況を、学の継承の観点から編纂していきたいと考えたわけである。具体的なモノグラフや作品の集成とともに、このような論集からも都市民俗について新しい考察の芽が出ることを期待している。

（倉石忠彦ほか編『都市民俗基本論文集』１、2009.10、小社刊、「序」より）

地方史研究雑誌目次速報　飯澤文夫 編

＊本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは，発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆アイヌ語地名研究会会報
〒061-1448北海道恵庭市相生町179-5　ハウスオブ恵庭105　渡辺隆方　℡0123-34-2130／〒062-0007札幌市豊平区美園七条１丁目3-1-507　高木崇世芝方　℡011-821-2831　年5000円
◇35　2009.3　B5　8p
伊能忠敬作成日本図の「完全復元」展示が始まる
母妻富士のアイヌ地名(上)　井口　利夫
私の発言　アイヌ文化尊ぶ学校教育を（『北海道新聞』平成21年1月26日付）　尾崎　功
第28回全国地名研究者大会／アイヌ民族文化研究センターが移転しました
アイヌ語地名看板の紹介／図書・会誌・会報・論文などの紹介

◆文化情報　北海道文化財保護協会
〒060-0002札幌市中央区北二条西７丁目かでる2･7ビル９階　℡011-231-4111
www10.ocn.ne.jp/~bunkazai/
◇312　2009.3　B4　4p
文化財講演会　樺太考古学のパイオニア—木村信六の生涯　野村　崇
北海道立埋蔵文化財センター
冬休みこども考古学教室　藤井　浩
文化庁支援事業「伝統文化こども教室」の募集始まる　青柳　文吉
天平の音楽　舟山　廣治
21年度の通常総会は5月30・31日　江別市で
文化の新しい風　北海道遺産(終)
地域資源のさらなる発掘は続く　北海道遺産構想推進協議会
博物館物語(2)　北海道電力原子力ＰＲセンター“とまりん館”
もっと遊べる、もっと学べる、とまりん館　落合　透
炭鉱よもやま話(終)「地質調査資料」で最後の四方山話　青木　隆夫
産業考古学と世界遺産登録運動の今後の課題　山田　大隆
各団体の活動(2)　ＮＰＯひがし大雪アーチ橋友の会　鉄道遺産を使ってまちづくり！　角田　久和

◆北海道の文化　北海道文化財保護協会
〒060-0002札幌市中央区北二条西７丁目かでる2･7ビル９階　℡011-231-4111
◇81　2009.3　A5　68p
巻頭文　文化保護と食文化—記憶のなかの法要料理　小田嶋政子
随　想
建築家M・ヒンデル研究の周辺　角　幸博
「開陽丸」偶感　宮下　節
歌会始　佐藤　京子
和服をリフォームしたアイヌ衣装—新十津川開拓記念館の収蔵資料　岡田　淳子
コタンを訪ねて(8)
—厚真川流域の人々　山本　融定
アイヌの蜂起と自然災害　平山　裕人
文化運動としての三浦綾子記念文学館—開館10周年を迎えて、市民運動で文学館は続けられるか　斉藤　傑
札幌市月寒北部軍防空指揮所の平成20年春解体について　山田　大隆

◆北方民族博物館だより
〒093-0042北海道網走市潮見309-1
℡0152-45-3888　hoppohm.org
◇72　2009.3　A4　6p
榎本武揚展　渡部　裕
はくぶつかんクラブ「スノーシューシュー(かんじき)で遊ぼう」／研究紀要第18号発行／ミニギャラリー　岩崎昌子コレクション　イヌイトの小さな壁掛け
企画展「北方民族小物のおしゃれ small handicrafts in the north」　笹倉いる美

◆青森県史だより
青森県環境生活部県民生活文化課県史編さんグループ
〒030-8570青森市長島1-1-1　℡017-734-9238　www.pref.aomori.lg.jp/info/history/
◇17　2009.3　A4　8p
青森のまじない各種　清野　耕司
部会の活動あれこれ
平成20年度刊行の『青森県史』を紹介します　資料編　近現代５　復興と改革の時代
今年度刊行の『青森県史叢書』の紹介です　『南部の仏像—上北三八地方寺社所蔵文化財調査報告書—』

◆いわて文化財　岩手県文化財愛護協会
〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34　岩手県立博物館内　℡019-661-9688
◇229　2009.1　B5　16p
《正月特集》
日本人の故郷　大月　光康
ウシづくし
滋養の源　古代の聖獣
肉の宝石　育牛の歩み
牛馬の争い　逸話と伝説
豊年と吉　うし年の出来事
世界遺産と地域・住民　船越　昭治
「越後・米沢の旅」と雑感　合田　武
立志ウォーク　吉丸　蓉子
雑談「保存」　松本　源蔵
「支え合いの文化」を大切に　安藤　厚
チェンジ　加藤　章
真実の時　武田　牧雄
歴史が彩る江刺の暮らしと文化　千葉　俊一
神楽のいのち　佐々木　隆
地域文化の再確認を　愛護協会発足40年に向けて　金野　静一
◇230　2009.3　B5　8p
三ヶ尻鹿踊の保存と伝承　小関　新喜
「文化芸術条例」に期待する　飛澤　嘉重
道上遺跡の木簡の意義　丸山　浩治
平泉の柳之御所遺跡　「儀式空間」復元と課題　平泉遺跡群調査事務所
逞しい昭和のかあちゃん—春の県立博物館テーマ展　熊谷　道仁
シルクロードと「金のべごっこ」　佐藤　宏
奥羽松前巡見使の足跡　細井　計

◆仙臺文化往来　『仙臺文化』編集室
〒982-0021仙台市太白区緑ヶ丘1-19-6　渡邊慎也方　℡022-249-6530
◇8　2009.2　A4　8p
蘇らせよう“中島池と幽玄な自然”

渡邊　慎也
その後の地下水流
　いま仙台でなにが……（6）
読者の声
　戦災記録を後世に残す大切さ　新関　昌利
解説　川埋木と山埋木
川埋木の真価伝える“埋木書院”
　瑞巌寺の一角に保存された仙台
　の至宝　渡邊　慎也
アンケートから
　『仙臺文化』第8号を手にして
会員往来　貴重本「源貞氏耳袋」
　が読めるようになりました　高
　倉淳さん（会員）らが全14巻を解
　読・刊行

◆道鏡を守る会通信　道鏡を守る会

〒989-6156宮城県大崎市古川西館3-4-35
本田義幾方　℡0229-22-7364　年3000円
◇80　2009.2　B5　6p

つらつら思うこと　本田　義幾
御前山／岡寺縁起
弓削島方面探訪のために

◆東北戊辰戦争懇話会報

〒981-0907仙台市青葉区高松3-17-10
小池純一方　℡022-234-2704
◇6　2009.2　A5　86p

仙台藩戊辰戦争殉難藩士「弔魂碑」
　考　木村　紀夫
松平容保公
　戊辰後の謹慎所について　宮下　秀史
水戸藩と東北戊辰戦争（4）　草野　楓子
会津藩士・小池一族の変遷（6）
　戊辰戦争と会津藩（下）―戦死・
　自刃した者たち　小池　純一
資料　長岡落城よ里会津・仙台迄
　之日記　牧野彝子手記

◆ナジェージダ（希望）

石巻若宮丸漂流民の会
〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23
大島幹雄方　℡045-773-3919
homepage2.nifty.com/deracine/
◇21　2009.1　A4　24p

若宮丸のロシア漂流と異国体験　平川　新
例会報告　ブラジルとの今後の交
　流を中心に　今村　享嗣
ブラジルに若宮丸漂流民研究会発
　足
ヤクーツク紀行　大島　幹雄
若宮丸漂流民異聞（7）　漂流　高橋　寿之
自著を語る
　小学館『開国への道』と若宮丸
　漂流民　平川　新
『外交儀礼から見た幕末日露文
　化交流史』について　生田美智子

◆秋田県公文書館研究紀要

〒010-0952秋田市山王新町14-31　℡018-86
6-8301　www.pref.akita.jp/koubunsyo/
◇15　2009.3　B5　94p

学館における学問受容の制度的環
　境―秋田藩教学制度の再検討　金森　正也
秋田県における郡役所の文書管理
　制度の展開について―「郡制」下
　を中心として　柴田　知彰
『戊辰秋田勤王記』『戊辰秋田戦争
　記』成立に関する史料群　畑中　康博
資料紹介「梅津忠宴日記」　加藤　昌宏

◆秋田県公文書館だより

〒010-0952秋田市山王新町14-31　℡018-86
6-8301　www.pref.akita.jp/koubunsyo/
◇23　2009.3　A4　8p

旧秋田空港航空写真／旧秋田空港
　に着陸したYS-11型機／冬期休
　航していた札幌－函館－秋田便
　の再開を祝うセレモニー
資料紹介
　元禄国絵図（出羽七郡絵図）につ
　いて　佐藤　隆
「秋田県略史」について　柴田　知彰
平成20年度秋田県公文書企画展
「武士の日記を読む」／平成20年
　度県外歴史資料所在調査・収集
公文書の引渡し・公開状況／平成
　20年度秋田県公文書館普及事業
　展「アーカイブズへのいざない」

◆北方風土　北方風土社

〒019-1541秋田県仙北郡美郷町土崎字上野
乙1-254　森本彌吉　℡0187-85-4027
◇57　2009.1　A5　127p　2000円

秋田地域史の研究家・佐々木金一
　郎小伝　田口勝一郎
保呂羽権現考　佐藤　松雄
雪室について　稲　雄次
大仙市福田の黒沢三郎家所蔵の歳
　代記の分析　新谷　正隆
戎谷南山臨模「後三年合戦絵詞」
　における錯簡修正の問題につい
　て　高本　明博
実証史学において一文書一史実の
　意義を問う―報告「阿証上人の
　生涯」に対する批判に寄せて　神谷　滋
平泉の地に浄土思想を基調とした、
　平和文化の花を開いた、奥州藤
　原氏　高橋　暁樹
倭国の物語（6）
　―倭国連邦の東遷　寿松木　毅
昭和初期の将棋指し　深田新一郎
秋田からの出稼ぎ教員のころ　佐藤　貢
私的高校野球裏面史
　―屋内練習施設普及を巡って　寿松木　毅
書評　神宮滋著『戊辰戦争・出羽
　戦線記―澤為量・奥羽鎮撫副総
　督の征討記録から』を読んで　田牧　久穂
天保五年仙北郡前・奥北浦一揆の
　新出史料について―大仙市太田
　地域・高橋久四郎家文書「覚
　書」　高橋　一倫

◆季刊東北学

東北芸術工科大学東北文化研究センター
〒990-9530山形市上桜田3-4-5
℡023-627-2168　年10000円
www.tuad.ac.jp/tobunken/（発売：柏書房）
◇18　2009.2　A5　2000円

《特集　坪井洋文・再考》
座談会　坪井民俗学をどう受け継
　ぐか―稲作文化論・フィールド
　ワーク・民俗写真の検証
　佐々木高明／小川直之／赤坂憲雄
郷田洋文さんのこと　川田　順造
「坪井曼陀羅」前後　野本　寛一
畑作と稲作の起源と文化層―“坪
　井マンダラ”への反論　萩原秀三郎
作物学からみた坪井洋文の世界　佐藤洋一郎
焼畑と黒米・赤米の関係性―坪井
　民俗学の発展継承に向けて　川野　和昭
坪生洋文による近江での民俗研究
　―未完に終わった“神”の規定
　について　橋本　章
「餅なし正月」の餅、あるいは稲
　作禁忌の神話　金田　久璋
山形のサトイモ
　―二つの栽培型について　井筒　桃子
東北民衆史の水脈（2）　東北人は
　「御一新」に何を望んだか―避
　けて通れない文献史料考　色川　大吉
人間学としての考古学（5）
　現代人の祖先　安斎　正人

済州島の民俗(18)　茅畑について
　—生業民俗論(11)　高　光敏
ラオス　山からの伝言(18)
　シヴィライ村の人々　安井　清子
絵はがきに見る東北日本・アジア
　(3)　韓国文化の風景(2)
　東北文化センター
森が語る現代(時評)　田口　洋美
北の森に生きる生存戦略(書評)　岸本　誠司
人口変動を手がかりとした歴史の
　解明(書評)　竹原　万雄

◆まんだら　東北文化友の会会報
　東北芸術工科大学東北文化研究センター
　〒990-9530山形市上桜田3-4-5
　℡023-627-2168　年10000円
　www.tuad.ac.jp/tobunken/
◇38　2009.2　B5　64p
巻頭対談　芸術が地域を繋ぐ
　梶井照陰／森繁哉
東北ルネサンス会議2008—芸術・
　平和・人類　シンポジウム　い
　ま芸術は何をなしうるか
　大石芳野／松浦雅子／
　北川フラム／赤坂憲雄
大石芳野写真展　ギャラリートー
　ク　戦世に子どもたち
　大石芳野／赤坂憲雄
東北研究の現在　東北地方および
　極東ロシアにおける頭信仰
　誉田慶信／入間田宣夫／山
　口博之／赤羽正春／田口洋
　美／福田正宏／菊地和博
公開講座　瀧山信仰の歴史と文化
　千歳栄／井関伸一／入間田宣夫
東北ルネサンス・プロジェクト
　in 仙台報告　赤坂憲雄対論「東
　北・知の系譜」／小説家・ライ
　ター講座／編集者講座
寄稿　第７回「このミステリーが
　すごい！」大賞　大賞受賞に寄
　せて　柚月　裕子
真壁仁　詩と心の風景(最終回)
　木村迪夫／高沢マキ
文学者たちの山形(18)
　作品の見えざるコード　池上　冬樹
聞き書き・知られざる東北の技
　(18)　茶がゆを受け継ぐ松浦敬
　祐さん　野添　憲治
東文研アーカイブス通信(7)　『東
　北一万年のフィールドワーク
　飛鳥』いよいよ刊行
　川合正裕／橋本綾／小川ひかり
フィールド・ワークの現場から
　(6)　隠岐・島前の牧から　岸本　誠司
母の聞き書き　母たちの座談会
　戦争を語り継ぐ
　布施友貴子／鈴木直美／石川
　由香／城戸口潤子／佐藤幸絵
地域誌だより(11)
　津軽から近代化を問い直す—周
　　縁から見る近代化の可能性　山下　祐介
　赤坂憲雄教授の単行本刊行　滝沢真喜子
　『仙台学』７号の特集は「広瀬
　　川物語—宮城里川逍遥」　千葉　由香
　子どもたちの聞き書き　菅家　博昭

◆山形県地域史研究
　山形県地域史研究協議会
　〒990-0041山形市緑町1-9-30　山形県文化
　環境部学術振興課分室内　℡023-627-7786
　年2000円
◇34　2009.2　A5　152p　1000円
江戸時代庄内浜の寄鯨・流鯨　前田　光彦
行司免遺跡について　三浦　勝美
発掘から見えてきた丸岡城
　青山崇／志田純子
大宝寺義活の庄内没収と信州への
　移封について　秋保　良
鮭延越前守口述録について　早川　和見
庄内藩の武家奉公人　佐藤正三郎
郷入のむら・田沢　佐々木勝夫
ワッパ騒動後の庄内の村　日塔　哲之
鶴岡市郷土資料館設立までの変遷
　今野　章
「ワッパ騒動義民顕彰」について　星野　正紘
黒川能の現代史研究　柴田　真希
『遊佐町史　上巻』発刊の歩み　土岐田正勝
推考　最上義光の聚楽屋敷　小野　末三
地域における蔵調査活動の一事例
　栗原伸一郎
鳥海山縁起考　神宮　滋

◆郡山地方史研究　郡山地方史研究会
　〒963-8876福島県郡山市麓山1-8-3
　郡山市歴史資料館内　℡024-932-5306
◇39　2009.3　A5　74p
郡山市の中世城館(6)　広長秀典／垣内和孝
二本松藩領内奥州街道沿いの宿場
　集落の形成について　柳田　和久
郡山空襲(1945年4月12日)資料採
　索の旅　佐藤　和司
資料紹介
　栃山神の「救民碑」について　渡辺　康芳
平成20年度「史跡巡り報告」　伊藤　光子
平成20年度郡山市文化功労賞等授
　与報告

◆相馬郷土　相馬郷土研究会
　〒976-8601福島県相馬市中村字大手先13
　相馬市教育文化センター博物館内
　℡0244-37-2191　年3000円
　www.geocities.jp/somakyodoken/
◇24　2009.3　B5　68p
もう一つの相馬氏
　—相馬治胤と相馬義胤(上)　岩本　由輝
清流「宇多川」に親しむ回想　佐藤　庄吉
相馬中村藩柔術師範　田中忠司の
　こと　山田　實
志賀直哉「城の崎にて」
　—他者発見の旅　新妻　郁男
本の中で出会った、相馬の人、相
　馬のことなど　朝倉　毅彦
番医格山田玄瑞の任務と医業(1)　田中　照禾
幼き日の想い出(2)　渡部　行
大甕神社と相馬侯信仰　渡辺　武

◆福島県郷土資料情報
　福島県立図書館調査課
　〒960-8003福島市森合字西養山1
　℡024-535-3218　www.library.fks.ed.jp
◇31　2009.3　B5　46p
神指城跡の再検討　本間　宏
県内所在の直江兼続発給文書につ
　いて　渡邉　智裕
「新公開史料展Ⅰ」の意義と解説
　(下)　渡邉　智裕
史料群としての「明治期福島県地
　籍帳・地籍図・丈量帳」—県重
　要文化財指定十周年によせて　山田　英明
フィルム上映会における歴史資料
　の活用　小暮　伸之

◆福島県史料情報　㈶福島県文化振興事業団
　〒960-8116福島市春日町5-54　℡024-534-
　9193　www.history-archives.fks.ed.jp
◇23　2009.2　A4　4p
「二十四輩巡拝図絵」(山内英司氏
　寄贈書籍141)　小暮　伸之
地籍図に見る神指城(3)　本間　宏
逃散する百姓と直江兼続　渡邉　智裕
塙の鍛冶(2)　小暮　伸之

公文書と割印　山田　英明
歴史資料館の１年　本間　宏
これからの歴史資料館について　山内　幹夫

◆福島の民俗　福島県民俗学会
〒963-8851福島県郡山市開成3-3-7
開成館内　℡024-923-2157
www.geocities.jp/fukushima-folklore/
◇37　2009.3　A5　79p
2008年度公開講演
『会津農書』の民俗世界　佐々木長生
『福島中央新報』記事を基にした戦後の二本松神社例大祭の変遷　喜古　康浩
近世、中通りにおける薬師信仰　野沢　謙治
『出産にとものう民俗』—安藤紫香氏による奥会津の記録　鈴木由利子
吉田家文書について　吉田　博令
民俗短信
書評・書誌紹介　大山孝正『ふくしまの市と市神』歴春ふくしま文庫45（歴史春秋社）／『原町市史』第11巻旧町村史（南相馬市）／『海辺の民俗—福浦村を中心に』おだかの歴史　民俗編一（南相馬市）

◆南相馬市博物館研究紀要
〒975-0051福島県南相馬市原町区牛来字出口194　℡0244-23-6421
◇11　2009.3　A4　78p
古文書解読口座について(6)　嘉永七年奥州中村藩中郷海岸防備と「伺書」　水久保克英
南相馬の炭焼き—記録映画「南相馬の炭焼き」制作から　二本松文雄
調査報告　近代に展示された相馬義胤の甲冑・肖像画—古写真を中心に　二上　文彦
阿武隈高地における在来イワナの移植記録　稲葉　修
上北高平地区・高松遺跡群について　佐藤　祐子

関　東

◆郷土ひたち　郷土ひたち文化研究会
〒317-0055茨城県日立市宮田町5-2-22
日立市郷土博物館内　℡0294-23-3231
年2000円
◇59　2009.2　B5　75p　700円
成沢小学校初代の教員瀬谷登之介の履歴書から　瀬谷　義彦
助川山の生い立ちを探る　地形の部(2)—山地解析のプロセスを桧入沢の河谷地形を事例にして　佐藤　惣一
覚書「火防線」のこと　吉成　茂
伊達輝宗と小野崎義政の死—「人取橋合戦」をめぐって　笹岡　明
信州飯山市の大窪詩仏の筆跡—漢詩人五百年夫人深井氏墓碑の篆刻　大森　林造
加筆修正された道中記—「水戸道中記」から「水戸路道中記」へ　堀切　武
「滑川より神岡に遊ぶ道中増羅夫」の歌について　田尻　明徳
川尻蠶養神社の演技について　國井　典子
御岩山からの想いはるか　川上　千尋
資料紹介　岩城相馬街道下孫宿・長山家の宿札など　榎本　實

◆常総の歴史　崙書房出版茨城営業所
〒315-0014茨城県石岡市国府4-6-5
℡0299-24-0595
◇38　2009.2　A5　112p　1100円
《舟塚山古墳特集》
舟塚山古墳とその問題点　大塚　初重
舟塚山古墳群の概要　川崎　純徳
大形古墳の出現と舟塚山古墳　諸星　政得
舟塚山古墳の陪冢の調査とその成果　瓦吹　堅
古墳の編年史の中の舟塚山古墳群　萩野谷　悟
前方後円墳の波及と埴輪祭祀—常陸北部久慈川中流域の梵天山古墳群をめぐって　塩谷　修
『和名抄』にみえる常陸国新治郡の郷について(4)—巨神郷(1)　久信田喜一
水戸藩における鳴物停止令　河野　弘
郷土の本／受贈図書の紹介コーナー

◆群馬県立文書館だより
〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26
℡027-221-2346
www.archives.pref.gunma.jp
◇46　2009.3　A4　8p
群馬県の誕生に関する行政文書
文書館常設展「なぜ記録を残すのか？—アーカイブズの役割」／平成20年度特別展「目で見る文書館資料展Ⅰ—絵図・絵ビラ・アラカルト—」開催報告
地域の人々とともに、地域の歴史を紐解く「ふるさと再発見講座」を開催
平成20年度収蔵資料展1「古文書で語る庶民の暮らし—赤城南麓の村々を訪ねて」開催報告／平成20年度収蔵資料展2「統計資料でふるさと再発見—明治期ぐんまの人とくらし」開催報告
新たに収蔵した行政文書／新たに収蔵された古文書／新たに閲覧できる古文書
Q＆Aレファレンスコーナー／ホームページ上で好評実施中「群馬ふるさと再発見クイズ」

◆ぐんま史料研究　群馬県立文書館
〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26
℡027-221-2346
www.edu-c.pref.gunma.jp/kyoui/monjokan/
◇26　2009.3　A5　199p　850円
古代東国の石碑をめぐる二、三の問題　前沢　和之
中世上野の東西交通路について—古代東山道駅路「牛堀・矢ノ原ルート」との関わり　久保田順一
山口重脩と自由民権運動　石原　征明
いのちの民俗誌試論—群馬県館林市上三林、下三林地区における誕生と死の儀礼分析から　板橋　春夫
大日本帝国憲法下における群馬県衆議院議員選挙録(10)
『ぐんま史料研究』休刊のお知らせ

◆群馬地名だより　群馬地名研究会
〒371-0835群馬県前橋市前箱田町29-8
小池照一方　℡027-251-7660
◇70　2009.2　B5　8p
片品の十二　十二山神社・十二様について　大竹　将彦

◆群馬歴史散歩　群馬歴史散歩の会
〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
℡027-223-2785　年4500円
◇208　2009.3　A5　64p
《特集
藤岡市(旧藤岡市・旧多野郡鬼石町)》
藤岡の歴史文化を訪ねて　藤岡市文化財保護課

藤岡市の観光スポット　藤岡市商工観光課
天明泥流の下から発掘された川原
　畑村と大型屋敷跡　篠原　正洋
かみつけの里はにわ祭「王の儀式」
　再現劇　横山　千晶
高山彦九郎日記による歴史散歩
　(16)『乙未の春旅』(5)　正田　喜久
日帰り温泉ぶらり旅(9)
　吉井温泉「牛伏の湯」　田口　正美
絵手紙で歩く　上毛かるた(31)　小林　生子
徳川家康の大光院興継　細谷　清吉
上州紬・渋川太織・草津紬　小山　宏
古い雑誌から　脇屋　真一
ベトナムの旅　山崎　正
支部だより

◆群馬歴史民俗　群馬歴史民俗研究会
〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4
◇30　2009.3　A5　76p
『松陰私語』の編年的アプローチ　細谷　昌弘
春蚕期における桑枝伐採の検討—
　群馬県高崎市における観察調査
　を通して　吉井　勇也
吉井火打金に関する諸問題　中嶋　義明
いのちの民俗と個人—誕生と死に
　ついての聞き書きから　板橋　春夫
史料紹介　上州山中領上山郷の慶
　長期の年貢割付状　佐藤　孝之
書評　板橋春夫著『叢書・いのち
　の民俗学1　出産　産育習俗の
　歴史と伝承「男性産婆」』　長谷川方子

◆武尊通信　群馬歴史民俗研究会
〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1064-4
◇117　2009.3　B5　4p
荘園的支配システムの継承と変容
　築瀬　大輔
海女に聞いた話　亀井　好恵
第84回例会記事
◇118　2009.6　B5　4p
ある梅栽培家の生業
　—高崎市榛名地域　永島　政彦
第85回例会記事

◆埼玉県立文書館紀要
〒330-0063さいたま市浦和区高砂4-3-18
℡048-865-0112
◇22　2009.3　B5　94p
文書館収蔵の拓本資料(2)　諸岡　勝
近世村落における高札と村方諸帳
　面の管理　重田　正夫
「安保文書」伝来に関する覚書　新井　浩文
講座・研修会による文書館制度の
　普及—各受講者層に向けての事
　例報告　太田　富康

◆埼玉史談　埼玉県郷土文化会
〒350-0231坂戸市泉町12-5　大圖口承方
℡049-281-4983　年4000円
◇296（55-4）2009.1　A5　62p
『寒松日暦』より見た寒松のルヒ
　イナ救出運動と幕閣諸侯　沼口　信一
鎌倉御家人宿屋氏の歴史—宿屋村
　と宿屋(屋戸野)入道をめぐって
　内野　勝裕
丹党中村氏の墓の疑義について　栗原　一夫
明治天皇幸手行在所と埼玉県への
　地方巡幸今昔　大熊　晋一
埼玉県における草創期の小学校修
　学旅行に関する一考察　石井　昇
点描　自治体警察始末記　佐藤　繁
三戸駿河守義宣と代山城について
　岩井　茂
大宮住吉神社御神楽に関する記録
　(中)　編　集　部

◆日本の石仏
日本石仏協会（発売：青娥書房）
〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29
℡042-971-6512　年8000円
www1.pbc.ne.jp/users/sekibutu/
◇129　2009.3　A5　80p　2100円
巻頭随想
　石仏の多様性を発展の柱に　坂口　和子
《特集　猿田彦大神と石仏》
猿田彦大神と石仏　鎌田　東二
猿田彦塔について　中上　敬一
野田市の猿田彦像塔について　石田　年子
石仏論考　初期庚申石祠と内蔵仏
　岡村　知彦
「石」を知る(19)　小松　光衛
石燈籠入門(39)　嘉津山　清
石仏写真と私(19)　杉本　康希
あ・ら・か・る・と—私の石仏案内
　角田尚士／嘉津山清
会員の広場　加藤和徳／町田茂／
　森正彦／井戸寛／任向洋
はがき通信　やまだ漫歩／中森勝之
石仏交流
第79回石仏見学会報告　東松山市
　高坂周辺の石仏　町田　茂
海外石仏研修報告
　ラオス仏教寺院を訪ねる旅　中森　勝之
石仏談話室／第33回総会報告

◆ぶい＆ぶい 無為無為　日本史史料研究会
〒350-1321埼玉県狭山市上広瀬860　武蔵
野学院大学国際コミュニケーション学部
神野潔研究室　℡04-2954-6131
www17.plala.or.jp/t-ikoma/
◇6　2009.2　A5　22p
歴史のなかの女院　野口　華世
穀断の系譜
　—平安期仏教説話を中心に　太田　直之
書評　高橋貞樹著・沖浦和光校注
　『被差別部落一千年史』（岩波文
　庫、1992年12月）　生駒　哲郎
コラム　莫若　細川　重男

◆富士山遺文拾遺　まるはとだより発行所
〒334-0013埼玉県鳩ヶ谷市南1-5-5
岡田博方　℡048-281-4118
◇35　2009.2　B5　8p
古今東西宝語(35)　農家の長男よ
大島有隣先生御説経開扉(31)
　『道話資料』天保五年正月(7)　岡田　博
有縁機縁録　新刊紹介　二宮康裕
　著『二宮金次郎の人生と思想』、
　吉川弘文館『日本の民俗11　物
　づくりと技』
◇36　2009.3　B5　8p
古今東西宝語(36)
　脱成長で文化を楽しめ
大島有隣先生御説経開扉(33)
　『道話資料』天保五年正月(8)　岡田　博
有縁機縁録　半年間に着いた本

◆印旛郡市地域史料保存利用連絡協議会会報
〒284-0003千葉県四街道市鹿渡2001-10
第二庁舎　四街道市教育委員会教育部社会
教育課市史編さん室　℡043-424-8927
◇13　2009.3　A4　4p
第4回研修会　報告要旨　事例報
　告　印西市の歴史的文書の引継
　及び保存管理をめぐる現状と課
　題　菅澤　貴之
第4回研修会　アンケート—各市
　町村における歴史資料の収集事
　業等について(公文書編)　能勢　幸枝
第2回研修会　戸田市立郷土博物
　館を視察して　杉山　祐一
第3回研修会

概要報告(講師　村田一男氏)　川端　弘士

◆郷土史研通信　八千代市郷土歴史研究会
〒276-0023千葉県八千代市勝田台3-24-10
牧野方　℡047-484-9728　年3000円
◇65　2009.2　A4　4p
報告　八千代市民文化祭　ふるさとの歴史展「旧村のいま・旧平戸村のすがた＆大和田新田拾遺」
東京成徳大学房総地域文化研究プロジェクト特別講義を当会が担当　関和　時男
目黒七福神巡りに参加して　成田　忠志
◇66　2009.5　A4　8p
報告　平成21年度定期総会と学習報告会
3月例会　銅版画「鳥羽小左衛門邸宅・千玉堂之図」の現地を訪ねる　石田　広道
さらば・旧稲垣邸　天保期の移築住宅解体さる　牧野　光男
4月例会　平戸周辺、佐山地区探訪の記　村杉スミ子
千葉県郷土史フォーラムに参加して　佐藤　二郎
平戸の除隊記念道標　本人の揮毫が三山碑に　佐久間弘文
私の狛犬研究　平塚　胖
北総の子安塔とその由来を訪ねて　蕨　由美

◆佐倉市史研究
佐倉市総務部行政管理市史編さん担当
〒285-0038千葉県佐倉市弥勒町78
℡043-486-3478
◇22　2009.3　A5　122p
《特集　『佐倉市史』考古編の編さんに着手》
考古編の編さんにのぞんで　近森　正
旧石器時代の佐倉　橋本　勝雄
縄文時代を担当して　堀越　正行
考古編の編さんに向けて　柿沼　修平
古墳時代　萩原　恭一
奈良・平安時代の佐倉　小林　信一
中・近世の佐倉　小高　春雄
講演録　印旛沼と佐倉の考古学　近森　正
「佐倉出ノ人」手塚律蔵と洋学　小川　弥子
明治・大正期における幕末維新期人物像の形成—堀田正睦を事例として　宮間　純一
松林寺土井家石塔群について　小高　春雄
堀田正睦の住居「松山御殿」関係文書—大殿様御住居相渡帳　土佐　博文
古写真に見る岩瀧家由縁の刀剣　井原　重之
佐倉郵便御用取扱所最初期の消印考　白土　貞夫
佐倉麻賀多神社祭礼変遷考　北詰　栄男
購入資料の紹介
佐倉藩士小林冬隆「手日記」
佐倉市の主な出来事（平成20年1月～12月）

◆紙魚之友　房総史料調査会
〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1
東京大学文学部日本史学研究室
◇24　2009.3　B5　4p
調査報告　君津市郡区有文書　小松　賢司
旭市鈴木勝人家文書調査参加記　長谷川雅也

◆たかっぽ通信
千葉県立中央博物館大利根分館　川のフィールドミュージアム　〒287-0816千葉県香取市佐原ハ4500　℡0478-56-0101
www.chiba-muse.or.jp/OTONE/
◇1　2009.3　A4　4p
水塚調査隊発足／水塚の測量調査
十六島新田の成り立ち(1)
「フィールドミュージアム現地ワーク」行われる

◆千葉県史料研究財団だより
〒260-0013千葉市中央区中央4-15-7
千葉県文書館内　℡043-221-5100
◇20　2009.3　A4　8p
県史編さんを振り返って　松原　延治
「史料研究財団だより」のあゆみ
土の埋もれた房総の歴史　考古資料による『千葉県の歴史』の刊行を終えて　考古部会事務局
古代史部会の活動を振り返って　古代史部会事務局
中世史部会で編さんした『千葉県の歴史』　中世史部会事務局
大多喜城主本多氏三代　久我　高行
千葉県史料研究財団の解散にあたって　池田　順

◆千葉県立中央博物館研究報告—人文科学
〒260-0852千葉市中央区青葉町955-2
℡043-265-3111
www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/
◇22（11-1）2009.3　B5　107p
南関東地方における弥生時代深鍋の作り分けと使い分け　小林正史／庄田慎矢　竹田裕子／渡辺修一
後期旧石器時代南関東における赤谷層産黒色頁岩の使用状況について　山岡磨由子／田村隆
環状盛土遺構を有する遺跡の解釈　高梨　俊夫
150年前の畑を探る—「おばあちゃんの畑」プロジェクトの成果　島立理子／木曽野正勝
資料紹介　江戸、武蔵、下総等金石拓本集(篠崎四郎旧蔵)　斎木　勝

◆日本村落自治史料調査研究所研究紀要
〒299-4213千葉県長生郡白子町八斗16-1
川村優方　℡0475-33-5582
◇13　2009.3　A5　27p
地方史研究団体の一動向とその対応—研究・経営上の危機的状況の一端　川村　優
J.F.モリス教授の御批判に寄せて　川村　優
〈児玉幸多先生追悼特集〉
父の記憶—児玉先生のアルバム　児玉　与史
児玉先生の年賀状　広澤　伸彦
1950年代初頭、児玉先生の新しい町村史(郷土史)・地方史研究に対する先駆的見解　川村　優

◆房　総　川城文庫・藩政史研究会
〒299-4311千葉県長生郡一宮町白山8-7
℡0475-42-3034
◇124　2009.3　B5　8p
房総に伝わる祝い唄　川城文庫収集
百万遍の念仏講について　川城　昭一

◆房総石造文化財研究会会報
〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3
石田年子方　年3000円
◇100　2009.1　B5　12p
新年のご挨拶—会報100号を記念して　沖本　博
都内の石仏見学会に参加して　土井　照美
三回石仏見学会に参加して　水垣　清志
石仏調査会
「共同調査」についてあれこれ　早川　正司
第1回石仏調査会参加体験記　大木　英雄
西海神の日本廻國衆五千人供養塔

白石　重男
富里の石仏(5)
　日吉倉の齋念仏塔　木原　律子
石仏紹介　災害碑(2)
　永代橋崩落溺死者供養塔　入谷　雄二
緊急調査報告
資料紹介　成田山新勝寺史料集別
　巻—金石文編

◆町と村調査研究　千葉県立房総のむら
〒270-1506千葉県印旛郡栄町龍角寺1028
℡0476-95-3333
www.chiba-muse.or.jp/MURA/
◇9　2009.3　A4　61p
〈テーマ
　物から見た町と村の交流—建造物から〉
房総の農家建築
房総の町家建築
房総のむらの武家屋敷建築
特別投稿　子孫が伝えた旧佐倉藩
　士の暮らし—佐治千枝氏のお話
　しから　植野　英夫

◆松戸市立博物館紀要
〒270-2252千葉県松戸市千駄堀671
℡047-384-8181
www2.city.matsudo.chiba.jp/m_muse/
◇16　2009.3　A4　47+18p
比重を加味した岩石種判定基準の
　提案　柴田　徹
戦後生活資料へのアプローチ　青木　俊也
講演録
　火山灰に埋もれた古墳時代のム
　　ラ—群馬県黒井峯遺跡　能登　健
　江戸時代の本陣—東海道二川宿
　　の事例を中心にして　渡辺　和敏

◆まつどミュージアム　松戸市立博物館
〒270-2252千葉県松戸市千駄堀671
℡047-384-8181
www2.city.matsudo.chiba.jp/m_muse/
◇17　2009.2　A4　4p
コレクション紹介
　冨士三十六景　下総小金原
資料展「十二支のおもちゃ—杉山
　郷土玩具コレクションから—」
地域史から古墳時代を探る　小林　孝秀

◆歴史科学と教育　「歴史科学と教育」研究会
〒263-8522千葉市稲毛区弥生町1-33　千葉
大学教育学部　歴史学研究室　年2000円
◇27　2009.1　A5　60p
博物館の歴史展示と歴史学　米谷　博
近世中期における摂政・関白の権
　限と天皇「政務」—「復辟」を事
　例に　長坂　良宏
実践報告　必修科目「現代の社会」
　におけるＮＩＥの試み　田代　孝
新刊紹介　渡辺尚志著『惣百姓と
　近世村落—房総地域史研究』　渡辺　哲郎
展示紹介　千葉市郷土博物館特別
　展を見て　渡辺　由祐
新任教師の声　私と学校と生活と
　鈴木　雄介

◆あしなか　山村民俗の会
〒132-0031東京都江戸川区松島1-19-17
サトービル　℡03-5663-6748　年5000円
www8.ocn.ne.jp/~sanmin/
◇284　2009.2　B5　24p
《山の神特集》
表紙解説　「奉山乃神」の天狗像　編　集　室
伊豆佐野のヤッサモチ—三島市北
　東部山麓の山の神祭り　渡辺　好洋
信州の十二神社巡訪　平沢　利夫
山村民俗と山の神—相州丹沢から
　佐藤　芝明
修験銘山神像と掠処
　—岩手県湯田町　浅野　明
東北山の神紀行　大塚　安子
旅の草ぐさ(8)　山の神は誰なの
　か—北上・米沢　杉崎満寿雄

◆明日を拓く　東日本部落解放研究所
〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5
℡03-5603-1861
◇74･75 (34-4･5) 2008.3　A5　207p　2100円
座談会　大熊監督の部落問題ビデ
　オをめぐって　大熊照夫／井桁碧／
　　門馬幸夫／柚木祖元／吉田勉
人権啓発映画と私
　—映像製作に携わって　大熊　照夫
講演　戦時下日本政府のユダヤ人
　対策と「歴史修正主義」　金子マテーィン
シリーズたずねる(5)　金子マー
　ティンさん「ぼくはロマが好き
　でロマのことに関わっているの
　は」　井桁　碧
取調室で何が行われてているのか？
　—取調べの全面可視化に向けて
　内藤　武
木下川解放子ども会活動から私に
　見えてきたこと　板橋　正枝
Mさん一家との付き合いを通して
　和泉宏行／遠藤美奈子
教壇復帰を求め、原告一人の裁判
　に立つ—南葛定時制卒業式・不
　起立裁判　申谷　雄二
埼玉・部落女性実態調査の取り組
　み　小野寺あや
なぜ藍染は穢れとされたのか
　—藍染屋・検非違使・キヨメ　吉田　勉
本の紹介　吉田文茂著『透徹した
　人道主義者　岡崎精郎』　藤沢　靖介
資料紹介　日本政府提出の定期報
　告に関する国際人権(自由権)規
　約委員会の総括所見

◆足立史談
足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内　℡03-3620-9393
◇492　2009.2　A4　4p
特集　3月15日　郷土博物館堂々
　新誕生!!　江戸東京の東郊をテ
　ーマに、訪れる人の会話の弾む
　楽しい空間へ
研究ノート　新常設展示と都市近
　郊の歴史的視座—産業と文化
千住火力発電所模型の制作にあた
　って　姫野　和映
リニューアル記念展「千住関屋の
　文人　建部巣兆」／オープニン
　グイベントのお知らせ

◆足立史談会だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内　℡03-3620-9393
◇251　2009.2　A4　4p
コラム教育史料　終戦直後の日本
　の教育(88)　新教育指針　第五
　章民主主義の徹底　堀川　和夫
鴎外スポット
足立区の登録文化財を観る
1月千寿七福神巡拝報告
◇252　2009.3　A4　4p
コラム教育史料　終戦直後の日本
　の教育(89)　新教育指針　第五
　章民主主義の徹底　堀川　和夫
足立区の登録文化財を観る
旧古河庭園と染井霊園探訪報告

◆あるむぜお
府中市文化振興財団府中市郷土の森博物館
〒183-0026東京都府中市南町6-32 TEL042-368-7921 www.fuchu-cpf.or.jp/museum/
◇87 2009.3 A4 8p
川崎平右衛門の墓めぐり(4)
新宿区四谷 長善寺(笹寺)
展示会案内 特別展 歴史の道を歩く 武蔵府中と鎌倉街道 深澤 靖幸
NOTE 武蔵野をゆく西行 小野 一之
from Tom to Hana 新米学芸員の交換日記(4)「講」のこと Hana
最近の発掘調査 饗宴の場？鎌倉時代の敷石を発見 中條 寛
リニューアルトピックス—展示室再生(12)「こども歴史街道」「体験ステーション」いよいよOPEN

◆板橋史談 板橋史談会
〒174-0076東京都板橋区上板橋2-30-7-104
TEL03-5398-2682
◇251 2009.3 A5 41p
赤塚大堂についての試論 井上 富夫
『我衣』を歩く(1) 羽黒ノ宮 木田 誼
史跡を訪ねて(9) 涌井まつ 猪瀬 尚志
写真ニュース(10)「小豆沢貝塚の発掘」(11)「文化財防災デー」 井上 富夫
「砂払」を道標に(1) 森田 千春
ひろば 第７回「櫻井徳太郎賞」授賞式に参列して 泉 貞代

◆奥武蔵 奥武蔵研究会
〒188-0011東京都西東京市田無町7-12-21-302 浦野要方
◇366 2009.3 B5 28p
知らぬが仏 ああ恥ずかしい 浦野 要
「消えた高篠山」にその訳を問う—高篠・高篠山・高篠峠考(1) 飯塚 孝雄
嵐山町の名所を巡る 染谷 鷹治
秩父地方の雨乞い習俗(4) 宮下 玲子
奥武蔵、秩父の獅子舞(28)—下郷、日向の座敷ざさら 関口 洋介
節約エコな山登り 木本 和男
守門岳、私の事故報告 大澤 昭美
山行報告

◆北区史を考える会会報
〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10
大澤栄美方 TEL03-3907-0040
◇91 2009.2 B5 12p
第27回定期総会 阿部 倬子
第312回月例研究会
浮間地区座談会 馬場 永子
第314回月例研究会 縄文時代の北区とその周辺 奥東京湾の縄文貝塚を東西で比較する 堀越 正行

◆近世史藁 近世村落史研究会
〒167-0042東京都杉並区西荻北4-5-2
森安彦方 TEL03-3399-1615
◇4 2009.3 B5 114p 1000円
《故鈴木研氏追悼号》
生糸貿易と農村窮乏 鈴木 研
故鈴木研氏の人と業績 森 安彦
鈴木さんとの思い出 池上 博之
研さんとのこと 太田 公
史料を見る目の厳しさとやさしさ 押木 寿子
研さんの思い出 熊田富士子
福江の漁火 千代田恵汎
鈴木研さんの思い出 林 巖
鈴木研さんの思い出 山中 清孝
正保・慶安段階における領主層の所領配置 和泉 清司
近世慈光寺の法雲 大舘 右喜
村の出火処理と火元入寺 佐藤 孝之
本山派大先達山本坊の霞支配と大徳院 千代田恵汎
東海道二川宿の本陣宿帳 渡辺 和敏
編集後記—鈴木研氏追悼 大舘 右喜

◆国史学 国史学会
〒150-8440東京都渋谷区東4-10-28
国學院大學史学科気付 TEL03-5466-0246
◇197 2009.2 A5 154p
則天武后と杜嗣先墓誌—粟田真人の遣唐使と関連して 金子 修一
〈特集 平安時代シンポジウムⅡ〉
特集にあたって
藤原実頼・頼忠にみる関白の政治的意味 立花 真直
摂政制成立再考 今 正秀
摂関政治の諸段階 神谷 正昌
討論要旨
戦後改革期におけるもう一つの農民運動—農村青年連盟運動の展開 坂口 正彦
書評と紹介
的場節子著『ジパングと日本—日欧の遭遇—』 岡 美穂子
垣内和孝著『室町期 南奥の政治秩序と抗争』 今泉 徹
深井雅海著『江戸城—本丸御殿と幕府政治—』 榎本 博
畑尚子著『幕末の大奥—天璋院と薩摩藩—』 宮澤 道代
例会発表要旨
永島福太郎氏を追悼して 山本 信吉

◆古文書研究会会報 福生古文書研究会
〒197-0003東京都福生市熊川95-1312
峰岸秀雄方 TEL042-551-7664
◇2 2003.3 B5 80p
中国の文化財保護政策の研究・緒論—アヘン戦争以降中華人民共和国過渡期を中心として 宮田 満
分水、その汚濁と背景 高崎 勇作
一枚の済口証文に残された怨恨 清水 浩
節知振舞 日野さよ子
白村江の敗戦前後と国際関係
第二次大戦前後との相似性 瀬口 広美
江戸期紺屋序説 平戸三重子
福生と清戸 植村 譲治
「日本株式会社」の創成と そして 小岩 幸治
学校制度の変遷 杉田 健二
森田浩一追慕—若くして逝った熊川村初の帝大生 峰岸 秀雄
◇3 2005.3 B5 71p
中国の文化財保護政策の研究・緒論(2)—アヘン戦争以降中華人民共和国過渡期を中心として 宮田 満
森田文庫の芭蕉書簡について 高崎 勇作
「道中日記帳」余談 瀬口 廣美
山本五十六と昭和飛行機工業㈱ 植村 譲治
村法(郷法)に逆らうもの 清水 浩
「一件中日記」より—垣間見える百姓の生活 日野さよ子

◆下町文化
江東区教育委員会生涯学習部生涯学習課
〒135-8383東京都江東区東陽4-11-28
TEL03-3647-9111 www.city.koto.eg.jp
◇244 2009.1 A4 8p
平成20年度特別合同展「指定無形文化財＆寄贈資料展」開催 昭和のくらしと道具／匠の技
平成20年度芭蕉記念館企画展 近世の名数俳人—三神・五傑・十哲など
平成20年度中川船番所資料館収蔵

資料展
文化財保護強調月間公開講演　文書が語る江東区の近代—地域の資料を後世に伝えるために　水野保／水口政次
江東歴史紀行
松平冠山と亀高村の下屋敷　向山　伸子
江東今昔(7)　赤澤　春彦
新春民俗芸能の集い／亀戸の富士塚が危ない！

◆自由民権　町田市立自由民権資料館紀要
〒195-0063東京都町田市野津田町897
℡042-734-4508
◇22　2009.3　A5　135p
《特集　シンポジウム
民権運動再考Ⅱ「地域から描く自由民権」》
特集にあたって（開催趣旨・プログラム）
『武相自由民権史料集』のねらったもの　松崎　稔
「文明」と民権　金井　隆典
地域史からみた自由民権運動—滋賀県・京都府の場合　高久嶺之介
地域自由党員と民権運動—群馬・秩父事件を事例に　高島　千代
自由民権運動と地域性—色川大吉批判と「反民権家」再考　河西　英通
コメント　福井　淳
コメント　林　彰
リプライ(応答)要旨　石居人也／杉山弘
参加記
自由民権運動に関心を寄せる者として、そして町田市の一住民として　安在　邦夫
シンポジウムに参加して—20代が見た民権運動研究の現在　坂井　飛鳥
書　評
町田市立自由民権資料館編『武相自由民権史料集』　奥田　晴樹
寺崎修『自由民権運動の研究』大内　雅人
横澤清子『自由民権家　中島信行と岸田俊子』　杉山　弘
新刊紹介　大畑哲『かながわ自由民権探索』(正・続)　石居　人也

◆城郭史研究
日本城郭史学会（発売：東京堂出版）
〒174-0042東京都板橋区東坂下2-4-3-1103
℡03-3967-1948　年6000円
◇28　2009.3　B5　162p　2700円
江戸城外郭諸門の屋根瓦に関する一考察—筋違橋門・浅草橋門を中心として　野中　和夫
戦国期山城の再検討　小和田哲男
古代・中世の城石垣に関する考察—古代山城から天正19年までの石垣・石積から　西ヶ谷恭弘
中国の城郭と万里の長城—日本城郭史学会中国の城郭旅行会から　金子　功
篠原城・新知見の新横浜駅脇の城　中澤　伸矢
城郭史関係論文目録　阿部　和彦

◆城郭だより　日本城郭史学会会報
〒174-0056東京都板橋区志村1-35-2-202
℡03-3967-1948
◇64　2009.1　A4　6p
新知見の姫路城古写真—絵図ノ門、ウの櫓、鐘楼などが写る
東北地方の城館で相次ぐ調査成果／津軽福島城の発掘調査—安東氏の居館屋敷が出土
最近の注目される城郭関連図書から／最近の城郭研究会活動から／10月 津軽地方の城館址への旅から

◆常民文化　成城大学常民文化研究会
〒157-0066東京都世田谷区成城6-1-20
℡03-3482-1181
◇32　2009.3　A5　86p
武田信玄伝説の予備的考察—『甲斐伝説集』と『山梨県の武田信玄伝説』にみる樹木伝説　及川　祥平
「ヤップ文化の再活性化」と観光化—ミクロネシア連邦ヤップ州の事例から　駒井　洋子
生活世界の憑在論—すべては小さな所作の中に　木下　聖三
死生観の沿革に関する一考察—往生伝にみる僧の命日から　佐山　淳史
天武朝の貨幣政策について　中江　圭
蔵と個室—「施錠」される空間について　加藤　秀雄

◆書籍文化史　鈴木俊幸
〒192-0393東京都八王子市東中野742-1
中央大学文学部3833号室　℡042-674-3789
◇10　2009.1　A5　53+65p
石翁三年忌追福歌集『絡石の錦』について　中澤　伸弘
講談もの写本『競客伝』(桜川五郎蔵)について—柳川龍翁の係わる一本を中心に　鈴木　圭一
資料紹介　長野県行政文書より旧長野県書籍文化・メディア関連史料(1)　青柳涼子／素野辰也／檜垣優／鈴木俊幸
『増補改訂　近世書籍研究文献目録』補遺(2)
「書籍文化史料分類目録」補遺

◆西郊民俗　西郊民俗談話会
〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1　大島方　年2000円　www11.ocn.ne.jp/~oinari/
◇206　2009.3　B5　37p
脚折雨乞い考—埼玉県鶴ヶ島市脚折　長沢利明／金井塚正道
布施の弁天　大島　建彦
虫と金属の「サナギ」の神秘(下)—諏訪大社の鉄鐸など　北野　晃
因幡・伯耆の威嚇猟—資料集成の概要　天野　武
岡山県の筌習俗聞き書(8)—筌と漁獲方法　湯浅　照弘

◆戦国史研究
戦国史研究会（発売：吉川弘文館）
〒113-0033東京都文京区本郷7-2-8
℡03-3813-9151
◇57　2009.2　A5　48p　700円
中入制における「奥州ノ作法」—戦国期の中入制と伊達氏の統一戦争　山田　将之
『後鑑』所載「伊勢貞助記」について　木下　聡
戦国大名の経済基盤をめぐって　黒田　基樹
羅針盤　里見忠義署判の発給文書の初見について　佐藤　博信
羅針盤　筑前立花城の開城　山田　邦明
戦国史関係論文目録（平成20年1月～6月）
例会記録／例会報告要旨

◆大道芸通信　日本大道芸・大道芸の会
〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101
光田憲雄　℡03-3307-2146
www.k5.dion.ne.jp/~daidogei/
◇181　2009.2　A4　2p　100円
『風俗画報』が載せる雑業

江戸市中世渡り種(4)

◆多摩地域史研究会会報

〒190-0011東京都立川市高松町1-16-2
文化財ＣＯＭ内　℡042-521-0186
◇87　2009.3　B5　28p

第64回例会報告　「武蔵村山の中世を歩く」参加記　安島　喜一
第65回例会報告　大石氏・北条氏照の城、滝山城を歩く　西股　総生
立地と景観から考える多摩の中世(前期)寺院―江戸期の地誌・絵図と近代地形図を手がかりに(6)　馬場　喜信
馬場喜信著『八王子案内24章』・『八王子を読む』から考えたこと―八王子の城下町的プラン成立を考える　梶原　勝
さし絵のなかの多摩(45)　多摩の奇勝　日向和田万年橋―『武蔵名勝図会』から大下藤次郎まで　齋藤　慎一
洋風建築への誘い(22)　クリスマス午餐会の日　伊藤　龍也
建物随想記(17)　有機的な校舎　酒井　哲
古文書は語る(25)　武州御嶽権現社の富籤興行―金井家文書「富籤行諸入用取決め一札」より　馬場　憲一
本の紹介　広報「こまえ」1000号発行記念事業実行委員会編『狛江・今はむかし』　坪西由美子
調布の戦前編集委員会編『調布の戦前』　八木橋伸浩
飯能市名栗村史編集委員会編『名栗の歴史(上)』　池田　昇

◆多摩のあゆみ　たましん地域文化財団

〒186-8686東京都国立市中1-9-52
たましん国立支店内　℡042-574-1360
年1200円　www.tamashin.or.jp
◇133　2009.2　A5　98p

《特集　開かれた大学博物館》
成蹊学園史料館／東京農工大学科学博物館／国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館／津田塾大学津田梅子資料室／明治薬科大学明薬資料館／国立音楽大学楽器学資料館／ＵＥＣコミュニケーションミュージアム／実践女子学園香雪記念資料館／東京造形大学附属横山記念マンズー美術館／玉川大学教育博物館／東京家政学院生活文化博物館／法政大学大原社会問題研究所／多摩美術大学美術館

◆地方史研究

地方史研究協議会（発売：岩田書院）
〒112-0002東京都文京区小石川3-10-5
名著出版内　℡03-3816-0739　年6600円
◇337（59-1）2009.2　A5　119p　1200円

工場委員会と企業城下町形成―戦間期の釜石製鉄所真道会と地域を中心に　松石　泰彦
近世後期における朝廷の意思決定過程―尊号一件を事例として　長澤　慎二
2008年度(第59回)大会・総会報告
第59回(茨城)大会参加記　栗原亮／高木謙一／山田渉／宮間純一／西内貴人／籾木郁郎／芳賀和樹
日本歴史学協会報告　佐藤　孝之
四国地域史研究連絡協議会の発足について　武智　利博
展示批評　萩博物館特別展「明治維新の光と影」　落合　弘樹
研究例会報告要旨　松崎稔／保坂一房／松本洋幸

◆千代田区立四番町歴史民俗資料館資料館報

〒102-0081東京都千代田区四番町1
℡03-3238-1139
rekimin.city.chiyoda.tokyo.jp
◇16　2009.3　A4　15+8p

平成19年度事業報告
日記にみる紀伊国屋三谷家の幕末　滝口　正哉

◆千代田区立四番町歴史民俗資料館だより

〒102-0081東京都千代田区四番町1
℡03-3238-1139
rekimin.city.chiyoda.tokyo.jp
◇30　2009.3　A4　8p

特集　平成20年度特別展「ひとの一生―千代田の人生儀礼―」を振り返って　加藤　紫織
読み物　発掘資料による江戸のはじまり　後藤　宏樹
区内文化財案内　神田お玉が池　高木　知己
収蔵庫から(13)　発掘された資料にみる千代田区と「西洋」の出会い　水本　和美
千代田区ミュージアム連絡会参加館の紹介　千秋文庫

◆伝　え　日本口承文芸学会

〒150-8440東京都渋谷区東4-10-28
国學院大學文学部　花部英雄研究室
℡03-5466-0224　年4000円
◇44　2009.2　B5　4p

戦時下で錬磨された声　真鍋　昌賢
第56回研究例会　シンポジウム「演じる戦争・観る聴く戦争―口承文芸からの戦争を考える」米屋　陽一
第2回国際研究フォーラム報告　植民地時代の昔話／グローバル社会の昔話　石井　正己
各地からの報告　出雲かんべの里民話館のこと　酒井　董美

◆東京大空襲・戦災資料センターニュース

〒136-0073東京都江東区北砂1-5-4
㈶政治経済研究所　℡03-5857-5631
www.tokyo-sensai.net
◇14　2009.2　A4　10p

石の上にも７年―語りつぐ平和の思い　早乙女勝元
語り継ぐ　心に刻む次の世代　空襲の事実を伝えて生きる樹々たち―特別展「高校生たちが見た東京の空襲被災樹木展」
08年度夏の親子企画の報告　特別公演・一人音楽劇「猫は生きている」上演／紙芝居と体験者のお話の会
特別展「記憶のなかの神戸空襲―豊田和子原画展　下町の暮らしと戦争」東京・神戸を結び、大都市空襲を考える
研究と交流　無差別爆撃国際シンポジウム　世界の被災都市は空襲をどう伝えているか　ゲルニカ・重慶・東京
資料は語る　空襲で亡くなったおばあさんの眼鏡　母の遺品のなかに
私たちの戦後はまだ終わっていません　東京大空襲訴訟２周年　高岡　岑郷
来館された方の感想ノート／維持・発展のために

◆練馬郷土史研究会会報

〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31
吉越正博方　℡03-3996-4454
◇320　2009.3　B5　4p
「服部半蔵幸隆」人物考(2)—高松廃寺の仁王像銘をめぐるM氏書簡によせて　日向康三郎
19・1月例会講演　橋戸・備中庄(荘)氏の足跡を訪ねて(12)　荘　正
昭和史雑感
昭和天皇と将軍達(3)　鎌田　茂男
豊島氏関係史料を読む(12)
関東公方足利成氏と豊島氏　伊藤　一美

◆練馬古文書研究会会報

〒177-0053東京都練馬区関町4-15-3-603
鈴木方　℡03-3920-3627
www2u.biglobe.ne.jp/~shiba/
◇41　2009.1　B5　4p
千川上水について　飯塚　芳男
書状講座(3)
鳥居成次書状(折紙)　柴辻　俊六
見学会報告　白子川中流域を歩く　安西　久

◆府中市郷土の森博物館紀要

〒183-0026東京都府中市南町6-32
℡042-368-7921
www.fuchu-cpf.or.jp/museum/
◇22　2009.3　A4　67+69p
博物館のとなりに茅葺き農家があった—芝間(府中市南町)の暮らし昔語り　小野　一之
多摩地方における近世瓦生産の一様相—町田市カワラ峯瓦窯と府中の寺社　深澤　靖幸
番場宿神戸高橋仁左衛門の「伊勢参宮日記」について　花木　知子
講演録　大國魂神社の太鼓　宮本　常一
講演録「大國魂神社の太鼓」発表にあたって　佐藤　智敬
川崎平右衛門が開いた「武蔵野新田御栗林」について　野田　政和

◆明治維新史研究　明治維新史学会

〒195-8550東京都町田市広袴1-1-1
国士舘大学文学部　勝田政治研究室
℡042-736-8134　www.soc.nii.ac.jp/ishinshi/
◇5　2009.2　B5　71p
京都府の「九門内」改良事業—東京「遷都」後の都市振興策の展開と桓武天皇の浮上　吉岡　拓
明治20年代旧熊本藩領における「民属金下戻運動」の歴史的意義　今村　直樹
文久2年閏8月の島津久光帰国と朝廷　清水　善仁
書評　保谷徹著『戊辰戦争』　松尾　正人
新刊紹介
明治大学史資料センター編『尾佐竹猛研究』　勝田　政治
熊澤恵理子著『幕末維新期における教育の近代化に関する研究—近代学校教育の生成過程—』　山下廉太郎
藤田大誠著『近代国学の研究』　桐原　健真

◆明治大学博物館友の会会報

〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-1
℡03-3296-4448　年3000円
www.meiji.ac.jp/museum/
◇19　2009.1　A4　8p
新しい年を迎えて　長野　陽次
友の会結成20周年記念行事
北陸の古代遺跡を訪ねて　渡邊　安
縄文鍋とストーン・サークル／小春日和の城下町と古墳散策
博物館友の会に新しい分科会「古文書の基礎を学ぶ会」が発足　平井　孝雄
明大コレクション(13)
岩宿遺跡発掘の風景　忽那　敬三
友の会会員アンケートの集約結果について

◆目黒区郷土研究　目黒区郷土研究会

〒152-0003東京都目黒区碑文谷4-15-13
長澤英男方　℡03-3711-3959
◇649　2009.2　B5　8p　150円
目黒川の源流(？)
落合水再生センターを訪ねる　平山　元也
目黒区の鎌倉街道(3)　田丸　太郎
会報にみる目黒の昔(14)「目黒歳時記五　たけのこ」「目黒歳時記六　花菖蒲」「目黒歳時記七　うらぼん」目黒竹山人
明治五年・壬申戸籍　橋口　明子
多摩川園の鮎焼き　栗山　佳也
碑文谷公園の雪吊りを見る　編集部
めぐろ歴史資料館　特別見学会開催される
◇650　2009.3　B5　8p　150円
目黒区の鎌倉街道(4)　田丸　太郎
会報にみる目黒の昔(16)「目黒歳時記八　草すもう」「目黒歳時記九　祭り」目黒竹山人　編集部
明治六年・三條さん　橋口　明子
柿の木坂移り変わり　柿の木坂町会誌より　続柿の木坂・昔あれこれ　談・白子清治要旨
碑文谷彫の栞　編集部
第55回通常総会開催す

◆小田原史談　小田原史談会

〒256-0816神奈川県小田原市酒匂2-24-13
植田方　℡0465-48-9072　年3000円
◇216　2009.1　B5　28p
小湖から曾我光海へ　市川　清司
小田原戊辰戦役の真相—小田原藩と藩邸浪士隊および遊撃隊　石井　啓文
富士残照(写真)　植田　士郎
わが町・南町地区の道・小路　隠岐　明重
小田原宿本陣　補記　中村　静夫
産土紀行(3)
小田原万年町の大火　植田　博之
小田原の商店街　史料委員会
片岡日記(42)　片岡永左衛門
史談再録(4)　舟原の語源について『小田原史談』第19号(1963年〈昭和38年〉2月所載)　磯崎　憲次
小田原史談雑記帳
大河ドラマ「篤姫」と小田原
郡上八幡と岐阜の史跡めぐりの旅　研修委員会
◇217　2009.3　B5　28p
早川港の春　渡邊　敏一
江戸時代における足柄平野の新田開発について　西村和勇／草山俊憲／真木和男／高橋武司／久保寺登美男／青木正次
旅のつれづれ俳句日記　剣持　芳枝
小田原戊辰戦役の真相—小田原藩と薩邸浪士隊および遊撃隊　石井　啓文
西岡逾明—ある文人司法官の生涯(5)　直江　博子
小田原藩浅田兄弟の敵討
『孝貞義鑑』散策(1)　鈴木　好
「最新小田原案内図」によって小田原町内を散策　鳥居泰一郎
片岡日記(43)　片岡永左衛門
隅田川七福神初詣の旅　渡邊　敏一
史談再録(5)　仇討考　『小田原史談』第24号（1963年〈昭和38年〉

10月所載）　蓑田　天峰

◆神奈川県立公文書館だより
〒241-0815横浜市旭区中尾1-6-1
℡045-364-4456
◇21　2009.3　A4　4p
展示を終えて「古文書にみるかながわの産業―生業から江戸は時代を考える」「異国船の渡来と県内の動き―黒船騒動顛末記」
ミニ展示を終えて「開国と地域」「基地ではたらく人々をめぐって」
所蔵資料紹介　『テクノコンプレックスかながわ　頭脳センター構想の軌跡』（㈱ぎょうせい　長洲一二編著）（K500-0-6-a）
古文書資料　八亀家文書

◆郷土神奈川　神奈川県立図書館
〒220-8585横浜市西区紅葉ヶ丘9-2
℡045-263-5900
◇47　2009.2　A5　62p
横浜掃部山公園　井伊直弼銅像建立をめぐる紛争と事件の顛末　田村　泰治
丹沢山麓の中世の修験とその関連資料　城川　隆生
神奈川県ゆかりの建築を訪ねて―宮ノ下・富士屋ホテル　岡山　理香
資料紹介　飯田九一文庫より　中島亨斎資料　古根村政義
郷土史研究団体の動き(36)／郷土史研究団体一覧

◆京浜歴科研年報　京浜歴史科学研究会
〒233-0006横浜市港南区芹が谷5-59-12
大湖賢一方　℡045-825-3736
◇21　2009.2　B5　73p
特集にあたって　内田　修道
《特集　『佐久間権蔵日記』の世界》
『佐久間権蔵日記』を読むにあたって　伊東　富昭
『佐久間権蔵日記』を読んで　惣田　充
『佐久間権蔵日記』にみる第12回総選挙など　伊東　富昭
左右田金作の死、中島家のことなど　鈴木　由子
『佐久間権蔵日記』にみる結婚観　惣田　充
佐久間権蔵の公務と私事　伊東　富昭
『佐久間権蔵日記』、または大正期の面白さ　奥田　晴樹
『佐久間権蔵日記』にみる大正時代　鈴木　由子
お盆の佐久間家　惣田　充
営業と親戚付き合いに追われる日々　伊東　富昭
大正期の玉電　鈴木　由子
橘樹郡の女子実業補習学校　大湖　賢一
大正大典と佐久間権蔵　惣田　充
佐久間権蔵、病臥の周辺　伊東　富昭
鎮守と親戚の人間関係　倉田　純一
佐久間権蔵、日常と周辺　倉田　純一
正月明けの佐久間家　惣田　充
トラホームの検診、中西両家の婚儀など　伊東　富昭
村経営と味噌醸造経営―大戦景気の中　内田　修道
種痘のこと　惣田　充
浅野総一郎の登場　伊東　富昭
特設電話の敷設　大湖　賢一
村社の新築と例祭など　伊東　富昭
権蔵、金銭関係で奔走　鈴木　由子
鶴見の都市化と権蔵　鈴木　由子
コレラの発生と天王院本堂再建計画　伊東　富昭
「堀義貴」のことなど　鈴木　由子

嫁選びの焦り　伊東　富昭

◆県央史談　県央史談会
〒243-0004神奈川県厚木市水引-14-11
飯田方　℡046-221-0232
◇48　2009.1　A5　109p
渋谷氏とその一族　田中　將浩
愛甲郡愛川村半原の撚糸業とその町並みについて　小島　茂平
三輪椙山神社考始末―大神神社からの手紙　飯田　俊郎
糟屋荘と熊野社および極楽寺の創建について　吉野　勝洋
津久井郡長竹村上稲生出身の医師・原源一について　島崎　秀雄
戸室神社と子の神　柳下　安行
満州から来た相模湾防衛軍　千葉　弘
厚木の条里　菅野　雪雄
三増合戦・その意外史を語る　大塚　博夫
静岡の史跡めぐり　坂爪　義弘
平成20年度事業報告と役員名簿

◆コロス　常民文化研究会
〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20
西海賢二方　年1000円
◇116　2009.2　B5　6p
城下町の民俗的世界―小田原の年中行事(5)　西海　賢二

◆寒川町史研究　寒川文書館
〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山135-1　℡0467-75-3691
◇22　2009.3　A5　143p
《特集　高野聖と相模国Ⅱ》
特集にあたって　圭室　文雄
町史講座「相模路を歩いた高野聖たち―檀廻日並記にみる高野山信仰―」　圭室　文雄
資料紹介　高室院の廻壇日並　椿田有希子
講演会記録　資料保存活用講座「市民がつどう史料館―尼崎市立地域研究史料館に学ぶ―」　辻川　敦
展示会記録
百年前の発掘調査―記録資料にみる大神塚古墳　渡辺　真治
かながわの国体　1955・1998　佐藤　紘司
講座記録
江戸時代の古文書　高木　秀彰
梶原景時の史料を読む―吾妻鏡の世界Ⅱ　渡辺　真治
実習レポート　寒川文書館とアーカイブズ実習　清水　恵枝
寒川町史年表稿

◆寒川文書館だより
〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山135-1　℡0467-75-3691
www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp
◇5　2009.3　A4　8p
資料紹介「旗本杉浦家八千石陣立御料地」　佐藤　紘司
佐藤昭夫氏仏教美術書コレクション
シリーズ 寒川の先人たち(4)　寒川出身の海軍少将―吉沢作造　林　宏美
第4回企画展「かながわの国体　1955・1998」／収蔵庫の資料から(2)／文書館 最近のできごと

◆市史研究 横須賀　横須賀市総務部総務課
〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11
℡046-822-8150
◇8　2009.3　A5　120p
横須賀の漆喰彫刻―浦賀地区の作品を中心として　上杉　孝良
三浦光村に関する基礎的考察　真鍋　淳哉

浦賀の米穀問屋美川商店の取引先
—明治末の「端書複写控帳」から　大豆生田稔
相州詰彦根藩医の手控え
—石原純章の記録をよむ　海原　亮
市民が語る横須賀ストーリー　元
市役所職員、戦前・戦後を振り返る—美津口武夫さんに聞く
索引　『新横須賀市史』資料編古代・中世Ⅱ　盛本　昌広

◆湘南考古学同好会々報
〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-19-104　寺田兼方
◇**114**　2009.2　B5　36p
「第26回藤沢市遺跡発表会」を迎えて　寺田　兼方
唐池(№71)遺跡第２地点（稲荷台地遺跡群）　小池　聡
石川山田北遺跡第２地点　今泉　克巳
石名坂(№57)遺跡第６地点（稲荷台地遺跡群）　山田　仁和
石川鍛冶山(№84)遺跡　伊藤郭／寺田兼方
東海道藤沢宿第５地点　中村　哲也
東海道藤沢宿(№78)遺跡第４地点　宮田　眞
誌上発表
下土棚中村(№357)遺跡　横山　太郎
葛原滝谷(№347)遺跡　平岡　和夫
鵠沼横須賀遺跡第２地点　香川　達郎

◆ＤＪＩレポート　国際資料研究所
〒251-0045神奈川県藤沢市辻堂東海岸3-8-24　℡0466-31-5061
www.geocities.jp/djiarchiv/
◇**77**　2009.3　B5　4p
アーカイブと公文書管理　小川千代子
DJIの視点　公文書管理法の早期成立を望む　小川千代子
やぶにらみ文献紹介
DJIレポートの電子媒体への切り替えのお知らせ

◆日本地名研究所通信
〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10
川崎市生活文化会館４階　℡044-812-1191
http://www8.ocn.ne.jp/~timeiken/
◇**69**　2009.2　B5　4p
平成の大合併の功罪　谷川　健一
熊野の郷土食
さんま寿司とめはり寿司　三石　学
地名探索会
春採湖周辺のアイヌ語地名　山本　修平

◆扣之帳　扣之帳刊行会
〒250-0021神奈川県小田原市早川60
青木良一方　℡0465-22-8852　年2500円
◇**23**　2009.3　A5　82p　500円（抄）
『天の夕顔』の愛の深淵　東　好一
亀右衛門咄(1)
二百年前の御府内谷津村　青木　良一
北条氏政夫人黄梅院殿　今川　徳子
ボクの映画館(3)　なぜ半兵衛は三十郎と対決しなければならなかったか　黒澤明監督『椿三十郎』再考　平倉　正
酒匂だより　町田紀美子
強羅ホテル開業と猿丸初代支配人　佐宗　欣二
利休にたずねる　岸　達志
僕のボクシングデビュー戦　伊藤　寿英
足利周辺の碑文を探る(7)　昨今、路傍の神の嘆きを察するに—道祖神考　平賀　康雄
ララ物資の来た頃
—澤田美喜さんの思い出　中野　文子

役者見習い—足柄時代劇『富士に映える陽』出演顛末記　本多　博
悲琴抄(2)　茂木　光春

◆民具マンスリー
神奈川大学日本常民文化研究所
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
℡045-481-5661　年3500円
◇**491**（41-11）2009.2　A5　24p　350円
古代装飾・モザイクの製作と素材
—イタリア古都ラヴェンナ式技法について　杉本さつき
民具としての灯火器—ランプとレンズを使った行灯型灯火器　平本　元一
民具短信　ＤＶＤ「となみの手仕事　酒樽づくり」およびその報告書を製作して　安ヵ川恵子
書籍紹介
『長良川鵜飼習俗調査報告書』　内堀　信雄
◇**492**（41-12）2009.3　A5　24p　350円
日野市程久保発見の「義経の隠れ穴」残影—「地下式坑」の機能を予察する　清野　利明
民具短信
製糸家から配られた蚕神像　加藤　隆志
粟おこし店の通し付き唐箕—『花の下影』から　伊藤　廣之
収蔵庫を覗いてみれば
日野自動車のエンジン　金野　啓史
書籍紹介　神奈川大学21世紀ＣＯＥプログラム研究成果報告書『身体技法・感性・民具の資料化と体系化』　河野　通明
アチック・ミューゼアムの民具コレクション(24)　さる（一文人形・土製）　近藤　雅樹
第41巻総目次
日本常民文化研究所2008年度活動報告より

◆大和市史研究　大和市役所総務部総務課
〒242-0001神奈川県大和市下鶴間1-1-1
℡046-260-5336
◇**34**　2009.3　A5　119p
《大和市市制50周年記念特集号》
写真に見る高度経済成長期の大和(3)　市史編さん担当
１枚の写真から
「自動車パレード」の思い出　井上　芳篤
８ミリムービーでの映像記録から
市制施行前の「やまと」の姿　早川　四郎
１枚の写真から
飛行機を撮影し始めたころ　近藤　清光
ある行政マンの悪戦苦闘記　1950
年代以降の人口急増のなかで　間宮　邦夫
市制施行前後の大和市域の変貌
人口増・住宅・事業場増加と農地転用　樋口　雄一

◆悠　久
鶴岡八幡宮悠久事務局（発売：おうふう）
〒248-0005神奈川県鎌倉市雪の下2-1-31
℡0467-22-0315
◇**114**　2009.1　A5　132p　680円
《特集　雅楽と舞楽Ⅱ》
口絵　舞楽絵巻
エッセイ　自然と人間と　徳川　恒孝
舞楽の地方への伝播について　荻　美津夫
舞楽面の遺品について
—陵王面を中心に　田邉三郎助
奥羽の舞楽—谷地の林家舞楽の変遷と現状　菊地　和博
遠州の舞楽　田鍬　智志
国分寺の舞楽
—隠岐国分寺蓮華会舞　茂木　栄
稚児舞　山路　興造

コラム
厳島神社舞楽抜頭の一子相伝について　野坂　元良
雅楽の魅力—特にその「音色」について　中島　宝城
大日霎貴神社大日堂の舞楽　加藤　健司
天津神社舞楽　加藤　健司
越中射水、下村加茂社の稚児舞　加藤　健司
八幡宮紹介
荻窪八幡神社（東京都杉並区）

中　部

◆高志路　新潟県民俗学会
〒950-2022新潟市西区小針6-29-1
鶴巻武則方　℡025-231-6100
www.bsnnet.co.jp/jiku/minzoku/
◇370　2009.1　A5　50p
野兎のミミにまつわる民俗　天野　武
サイの神焼きの煙　金田　文男
村行事としての庚申年行事—十日町市高嶋・北鐙坂　大竹　信雄
粟島の「風切鎌」　池田　哲夫
「米壽」の民俗「とかき」について　高橋八十八
灯籠のこと　佐々木伸彦
◇371　2009.3　A5　77p
《小千谷市川井地区特集》
小千谷市川井点描　篠田　朝隆
小千谷市冬井、川井地区の食べもの・着もの　丸山　久子
小千谷市川井の民俗　高橋　郁子
小千谷市内ヶ巻マキ毎の内鎮守　鶴巻　武則
冬井の年中行事　金田　文男
年中行事と農作業　佐藤　和彦
小千谷市川井地区の盆踊り　五十嵐　東
川井小学校区の成り立ち　山本　幸俊
共同採訪記録

◆高岡市万葉歴史館紀要
〒933-0116富山県高岡市伏木一宮1-11-11
㈶高岡市民文化振興事業団
℡0766-44-5511
www.city.takaoka.toyama.jp/manreki/
◇19　2009.3　A5　72p
笠金村「得娘子作歌」の作意　曽倉　岑
家持の「恨歌二首」—越中の風土と霍公鳥　寺窪　健志
家持歌の「河」と「川」—越中萬葉歌の表現・少考　新谷　秀夫
ウタゲとトヨノアカリ　関　隆司
天平18年の遣唐使派遣計画と黄金伝説　川崎　晃

◆とやま民俗　富山民俗の会
〒930-0881富山市安養坊56甲-1
富山市民俗資料館内　年3000円
◇71　2009.1　A5　26p
古代越中「トナミ」地名私考　中葉　博文
富山県における熊の骨利用について　森　俊
小矢部川上流域における昆虫食—立野脇・刀利を中心として　加藤　享子
山田勇正さんの五箇蓑つくり　安ヶ川恵子

◆石川県立歴史博物館紀要
〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
℡076-262-3236
www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/
◇21　2009.3　B5　164p
江戸時代の金沢町人と文芸資料について　濱岡　伸也
寄せ物・飾り物・模型—19世紀金沢における造り物装飾の変容　大門　哲
石川県立歴史博物館蔵春日懐紙・春日本万葉集解説　田中　大士
回想録「過去の郷里を追想して」（4）　本康　宏史

◆石川れきはく　石川県立歴史博物館
〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
℡076-262-3236
www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/
◇90　2009.2　A4　6p
企画展「れきはくコレクション2008」
館長随想　実盛のこと　脇田　晴子
催事日録／れきはくトリヴィア
石管噴水の謎

◆能登のくに　能登を知る会
〒927-1214石川県珠洲市飯田町14-71
西山郷史方　℡0768-82-0297　年1000円
◇準備号　2009.2　B5　6p
能登を知る　舳倉島の精霊舟—国立歴史民俗博物館を飾る
書籍・論文・発表『石川県の力石』
『能登劇場　八十八景』
「能登を知る」研究会　「あえのこと」について、海揚がりの珠洲焼きについて
資料館・施設案内／今後の予定／後書き・機関誌発刊について

◆峡南の郷土　峡南郷土研究会
〒409-3600山梨県西八代郡市川三郷町市川大門1785　市川三郷町立図書館内
℡055-272-8888
◇49　2009.3　A5　32p
巻頭言　全身赤く塗られた狛犬　塩島　博光
国重要文化財「赤烏元年鏡」出土異説　塩島　博光
伊豆伊東氏が甲斐に来ていた　二宮　明雄
高松隊始末　依田　達
市川さんヤーイ　中倉　茂
『市川通覧』の編著者土屋夏五郎（夏堂）の生涯と執筆、出版活動（上）　樋泉　明
総会・臨地研修

◆飯島陣屋だより　飯島町歴史民俗資料館
〒399-3702長野県上伊那郡飯島町飯島2309-1　℡0265-86-4212
◇14　2009.3　A4　4p
飯島陣屋開館15周年／飯島陣屋元気もりもり塾／中央公民館「こどもぶき学級」参加者の声

◆飯田市歴研ニュース　飯田市歴史研究所
〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145　℡0265-53-4670　www.city.iida.nagano.jp/iihr/
◇38　2009.2　A4　4p
家相図　昔の家屋の様子を表した絵図史料／飯田アカデミア／地域史講座／歴研ゼミ
リレーエッセイ
みんなの森本日記　加藤　陽子
市民の声『私たちのふるさと座光寺』発刊にあたって　大内　智治

◆伊　那　伊那史学会
〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
℡0265-22-6017　年5500円
◇969（57-2）2009.2　A5　50p　500円
口絵　伝小笠原長清供養塔（北杜市長清寺境内）　今牧　久
古代、下伊那には何故製鉄遺跡はないのか　岡田　正彦
田中芳男の『科埜行雑記』を読んで　熊谷　良一
明治22年 木曽・駒ヶ根村（現上松町）の生業から—部落別・人名・職業一覧表より　神村　透

中世、橋北城の幻影を追う(5)　稲井　遙
◇970（57-3）2009.3　A5　50p　500円
口絵　観耕亭記の碑
　安藤正宜篆額　三ツ橋　茂
近世寺院にみる経済活動の一面—
　売木宝蔵寺文書「當寺田圃證文
　集」から　松澤　英男
写真で見る部奈疎水の上流—三六
　災害以後はヒューム管を使って
　通水　林　登美人
大正時代の飯田町(1)
　—業種別家並帖　永井　辰雄
伊那電(飯田線)開業以来始めての
　惨事　原田　望

◆伊那路　上伊那郷土研究会
　〒396-0021長野県伊那市伊那7799-2
　℡0265-78-6719　年5000円
◇625（53-2）2009.2　A5　40p　500円
《「上伊那郷土研究交流の集い」特集号》
くらしの中で育つみやだの古木・
　名木について　小田切須賀雄
戦国時代の山代　宮田城址保存会
　の活動について　小田切藤彦
郷土学習の推進に思う　松澤英太郎
「第九回上伊那郷土研究交流の集
　い」報告　下平　道子
「郷土研究交流の集い」に初参加
　して　若林　博
向山雅重民俗資料館を訪れて　丸山　輝子
伊那谷の鳥(1)
　—民俗の窓を通して　吉田　保晴
那須野さん　ところどころ(続)　桃澤　匡行
師匠の背中(2)より(5)
　脱穀作業(稲扱き)　若林　徹男
◇626（53-3）2009.3　A5　40p　500円
伊那谷の南と北　三石　稔
新発見の阪本天山伝記
　—松田黄牛「天山先生小伝」　林　洋一
西天竜水田の全分水槽踏査報告　若林　博
信州・伊那の「農」からはじまる
　新しい途上国支援(3)—帰国報
　告会からその意義を考える　根本　和洋
文化短信　木下育成会「ふれあい
　昔の遊び」　山本　勝
上伊那遺跡めぐり(66)　上の林遺
　跡出土の二単位抽象文上底有孔
　鍔付土器　赤松　茂
師匠の背中(2)より(6)
　籾すり(うすひき)　若林　徹男
近刊紹介『上伊那教育会所蔵文化
　財目録と考察』
お知らせ　井上井月顕彰会の「掲
　示板」設置

◆伊那民俗　柳田国男記念伊那民俗学研究所
　〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
　飯田市美術博物館内　℡0265-22-8118
　年3000円
◇76　2009.3　B5　8p
三遠南信地域文化に関わって　ミ
　ュージアムを結ぶ　風景(物語)
　街道を旅して　松田　不秋
上村の食—蕎麦　宮下　英美
柳田国男の『信州随筆』研究(16)
　木曽民謡集　小林　多門
伊那近代思想史研究会(25)　森本
　州平日記を読む　下伊那郡青年
　会の崩壊—昭和3年5月13日　片桐みどり

◆市誌研究ながの　長野市公文書館
　〒380-0801長野市箱清水1-3-8　長野市城山
　分室内　総務部庶務課　℡026-232-8050
◇16　2009.2　A4　168p
長野市公文書館開館一周年記念講
　演　平安時代の善光寺をめぐっ
　て—霊場寺院への発展とその背
　景　牛山　佳幸
砦大城と長野県北部の城館遺構—
　横堀遺構に着目した再評価の視
　点　遠藤　公洋
上田藩川中島領戸部村の日々
　—「林武夫文書」の紹介　鬼頭　康之
佐久間象山の漢詩(1)　佐久間方三
悲運の女優　松井須磨子の軌跡　高木　寛
島村抱月の英文の詩書
　松代清野でみつかる　倉石　武一
子どもと社会　倉石　忠彦
長野市の都市化とＤＩＤ人口の動
　態　山上　茂司
長野市公文書館の設置及び管理に
　関する条例／長野市公文書館の
　設置及び管理に関する条例施行
　規則

◆信　濃　信濃史学会
　〒390-0805長野県松本市清水1-9-607
　℡0263-36-1785　年8400円
　www.shinano-shigakukai.com
◇709（61-2）2009.2　A5　86p　900円
松本にあった二ヵ所の陸軍墓地　原　明芳
明治前期・教導職最下級から最高
　位へ、僧侶畔上楳仙—多様な教
　導諸活動から、職の等級考　田川　幸生
元和五年秋和目安考
　—戦前期地域民衆の一動向　尾崎　行也
〈信濃史学会第92回セミナー〉
講演　地域文人中条唯七郎の人間
　と行動—唯七郎はなぜ『見聞集
　録』を書き残したか　青木美智男
発表　あんずの里にみる地域文化
　の形成と広がり　木村　涼
◇711（61-4）2009.4　A5　84p　900円
《考古学特集号》
記念講演・論文　中野市柳沢遺跡
　・青銅器埋納坑調査の意義　石川日出志
「禾」(アワ)墨書土器に関する小
　考　川崎　保
考古遺物からみた中世信濃の地域
　性と共通性　市川　隆之
平安時代に出現する木棺墓からみ
　える信濃の在地社会　原　明芳
新刊紹介　小川千代子・小出いず
　み編『アーカイブズへのアクセ
　ス』　小松　芳郎
◇710（61-3）2009.3　A5　82p　900円
信州安曇野式年造替遷宮攷—穂高
　神社の式年造替遷座祭について
　榊之献進及御船祭の考証　草間　美登
18世紀信濃国における出羽三山修
　験の存在形態—佐久郡内の湯殿
　山行人を中心に　山澤　学
七夕と人形—松本の七夕人形の系
　譜をたどる　木下　守
古塔を巡る八時間
　—上田盆地の古塔をたずねて　窪田　善雄
新刊紹介　胡桃沢勘司編著『牛方
　・ボッカと海産物移入』　青木　隆幸

◆辰野町資料　辰野町文化財保護審議会
　〒399-0427長野県上伊那郡辰野町中央1
　辰野町教育委員会事務局内
　℡0266-41-1681
◇100　2009.3　B5　140p
《第100号記念号》
まえがき　古村　仁士
『辰野町資料』によせて　赤羽　篤
宮木とその周辺の宿場時代の遺構と遺物の概
要　赤坂　文隆
辰中創立20周年・統合10周年
　岡潔先生記念講演　赤羽　敬一
地域文化資源をモチーフにした美

術館事業—辰野美術館のワーク
ショップを中心に　赤羽　義洋
弾薬庫にされた沢底のトンネル　有賀　久昭
沢底日向のお堂と周辺の今昔　有賀　史夫
川岸村出身の人権派弁護士山崎今
朝彌と辰野（調査ノート）　飯澤　文夫
高く評価されている『辰野町資料』
—伊那路50年・600号記念特集
号の論考から　伊藤　一夫
小野宿問屋保存会活動について　小澤　和延
わが家は縄文遺跡の真上　小沢　幸彦
『たつの拾い話』から『辰野町誌』、
そして『辰野の蝶』の発行まで
小野　章
城前校舎への思い出　河西　允人
昭和初期のこと　春日　久志
ゲンジボタルの捕食量について　勝野　重美
文化財の宝庫　辰野町　加藤　弘子
小野シダレグリ自生地の保全にか
かわって　北原　通雄
『辰野町資料』との巡り会い　熊谷　久志
三峯山の犬を借りる　小池　悟志
地名の変遷　小林　辰興
辰野町開放子ども会設置当初の同
和教育—同和教育推進教員の活
動から　小松　舎人
吉江家の書き初め
—正月・小正月行事として　古村美智子
『辰野町資料』に学ぶ　高井　宗雄
『辰野町資料』100号によせて　竹入　洋子
伊那谷北部の古水系について
—唐沢礫層の研究から　竹淵　修二
自然の恵—湧水　橋爪　伝
辰野町内小中学校郷土室に眠る考
古遺物—辰野西小学校収蔵資料
畑　房男
小野村、岡谷市の入会地紛争記録
から　福島　永
時の流れの中に　消えて行くもの、
現れるものへ　堀内　敏文
七蔵寺に関する基礎史料と文化財
三浦　孝美
夢、「町の鳥」制定　吉田　元男
『辰野町資料』総目録
辰野町文化財関係年表
あとがき　北原　通雄

◆千　曲　ふるさとに学ぶ　東信史学会
〒386-0024長野県上田市大手2-7-13　上小教育会館内　℡0268-24-2182　年3000円
◇140　2009.2　A5　63p
松代騒動（午札騒動）
鎌原賢司／宮原英夫／宮原哲雄
近世前期上田領農家の家具・農具
類—小県郡舞田村北條家を中心
に　尾崎　行也
東信地方における器械製糸業の変
遷　野澤　敬
吾がソ連戦とその後　山浦　哲雄
古文書解読講座　第133回　寺島　隆史
地区だより

◆テラス　飯田市美術博物館ニュース
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
℡0265-22-8118　www.iida-museum.org
◇81　2009.1　A4　4p
平常展示　綿半野原コレクション
華やぎのうつわ／旧飯田藩士柳
田家日記『心覚』の刊行／特別
陳列　富草の化石—近藤コレン
クションを中心に
館長コラム
陶芸・絵付けのことなど　滝沢　具幸

◆長　野　長野郷土史研究会
〒380-0905長野市七瀬南部14-7
℡026-224-2673　年3000円
www.janis.or.jp/users/kyodoshi/
◇263　2009.2　A5　60p　500円
《特集　善光寺御開帳》
信濃毎日新聞最初の善光寺御開帳
記事—明治15年（1882年）
みらいへの伝言　長野市民会館
清水隆史／小林竜太郎
善光寺御開帳と出版　小林　一郎
江戸時代の善光寺の開帳
御印文頂戴・絵解き　小林　玲子
戦後の善光寺御開帳基本データ　小林竜太郎
加舎白雄が建てた姨捨面影塚の最
初の位置はどこか　矢羽　勝幸
新諏訪町を通る松代道について　松岡昭三郎
善光寺地震などを伝える『見集録
坤』の紹介（2）　鬼頭　康之
講談「真田三代記」（18）　小林　一郎

◆長野県民俗の会通信
〒390-0222松本市入山辺1403　木下守方
℡0263-50-9911　年5000円
www.k2.dion.ne.jp/~folklore/
◇210　2009.3　B5　8p
松本市島内の御嶽信仰系神社調査
の中間報告　小原　稔
松本市入山辺の清龍様　木下　守
第165回例会のお知らせ　事　務　局

◆松本市史研究　松本市文書館紀要
松本市総務部行政管理課松本市文書館
〒390-1242長野県松本市和田1058-2
℡026-347-0040
◇19　2009.3　B5　99p
信濃府中の国府所在地を考える
—字界図と伝承を中心として　浜野　安則
小笠原長時横死に関して
—松本と会津の史料比較　百瀬　光信
松本町の火災と松本藩の消防体制
田中　薫
新松本市域の人口の特性（2）　松
本市梓川地区の人口の変動と人
口問題　藤森　喜雄

◆郷土研究岐阜　岐阜県郷土資料研究協議会
〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1　岐阜県図書館内　℡058-275-5111　年2800円
www.library.pref.gifu.jp/dantai/kyosilen/
◇111　2009.3　B5　28p
「下切八幡神社祭礼記」について　大海　崇代
平成20年度講演会　宣教師のみた
信長の岐阜（抄録）　高木　洋
バンブーチャイナ事件に憶う　青木　本吉
南飛騨三木氏累代の菩提寺に関す
る新知見　横山　住雄
トイレにみる公徳心
現考学の視点から　浅野　弘光
書窓の風　岐阜　1568年の天正地
震—2008年発行の『愛知県史』
十一に基づいて　鈴木　秀雄
書窓の風　飛騨
広がる古文書の輪　福井　重治
郷土関係新刊書目録（97）
郷土関係逐次刊行物文献目録（96）

◆美濃民俗　美濃民俗文化の会
〒503-2227岐阜県大垣市青野町1180-1
大垣歴史民俗資料館内　℡0584-91-5447
年1000円
◇501　2009.2　B5　6p　250円
新春　干支・丑歳雑草記（下）　高橋　智静
随想　梁塵秘抄ゆえのかかわり　堤　正樹
殿様のくらし（70）　十万石大垣藩
主　戸田氏正の江戸暮し（2）　清水　進
西美濃地名考（5）　村上　圭二
竹鼻の唐人山車（1）　藤田　黎三

◇502　2009.3　B5　6p　250円
殿様のくらし(71)　十万石大垣藩
　主　戸田氏正の江戸暮し(3)　清水　進
竹鼻の唐人山車(2)　藤田　黎三
西美濃地名考(6)　村上　圭二
円興寺(青墓)、過去帳から読みとれるもの　堤　正樹

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会
民俗文化研究所
〒438-0086静岡県磐田市見付3532　℡0538-32-3546　www4.tokai.or.jp/child-c.j/
◇21　2009.2　A4　4p
引佐町のヒヨンドリ　吉川　祐子
◇22　2009.3　A4　6p
東子浦の人形三番叟
　再開そして継続をめざして　吉川　祐子
東子浦での感想　吉川　祐子
◇23　2009.3　A4　6p
宇久須の人形三番叟
　後継者意識を育てる試み　吉川　祐子
伝承機能向上の秘訣　服部比呂美
伝承に期待！　高橋　健一
熊野本宮大社例大祭　吉川　祐子

◆静岡県近代史研究会会報
〒432-8011浜松市中区城北3-5-1　静岡大学情報学部　荒川章二研究室内　年4000円
◇365　2009.2　B5　4p　200円
2月例会レジュメ“帝国”の危機と「大日本帝国」　小池　善之
新刊紹介
　人物を通じて「時代の思想」を考察すること—『評伝日本の経済思想 渋沢栄一—「道徳」と経済のあいだ』を著して　見城　悌治
　吉田文茂著『透徹した人道主義者　岡崎精郎』　黒川みどり
2008年12月例会報告　鈴木　雅子
◇366　2009.3　B5　4p　200円
3月例会レジュメ
　沖縄戦の記憶　足立美有紀
　静岡県における女子中等教育の成立と展開　片桐　実絵

◆静岡県民俗学会会報
〒420-0866静岡市葵区西草深町21-7-302
www4.tokai.or.jp/s-folklore/
◇131　2009.3　A4　4p
平成21年度総会・大会
研究発表要旨
　静岡民具学事始め—内田武志の再評価　大村　和男
　道の記憶—旧箱根地区の人々と道との関わり　神田　朝美
惨敗を喫した川奈の鹿島踊　吉川　祐子
シリーズ食(9)　南伊豆子稲の食　吉川　祐子
静岡の民俗語彙・方言短信／博物館情報

◆静岡歴研会報　静岡県歴史研究会
〒422-8045静岡市駿河区西島363-55
篠原旭方　℡054-286-8659
◇124　2009.3　B5　16p
日帰り史跡見学会
　浜松　湖北史跡探訪　大川　誠一
第82回研究会　遠藤照夫氏「盛山を極めた日影沢金山の今」の概要／松本検氏「山岡鉄舟の偉業」の概要／松葉屋幸則氏「今川(二代)範氏の居館と(三代)泰範の家督継承」の概要
第83回研究会　寺尾弘之氏「江尻の山田鋳物店と梵鐘」の概要／岡野勉氏「島田陣屋と江戸幕府代官たち」の概要／篠原明氏「中村正直」の概要

◆豆州歴史通信　豆州研究社歴史通信部
〒414-0001静岡県伊東市宇佐見1976-10
◇430　2009.2　B5　4p
1945年・終戦前後の熱海市下多賀の様相を聴き取る　相磯富士雄さんから　2008年9月7日　加藤　好一
史料紹介　地券について
旧国名の呼び方　相模を相州・甲斐を甲州・遠江を遠州。伊豆を伊州といわない？
◇431　2009.2　B5　4p
二・二六事件(1936＝昭和11年)と伊豆　首謀者、西田税の書簡　宇佐美村の有力者宅に保管されていた
二・二六事件の蹶起趣意書300枚　伊豆仁科村出身の退役・山本又少尉がガリ版を切って　他の主要文書も
◇432　2009.3　B5　4p
大正時代に伊豆半島循環鉄道案　熱海・宇佐美・伊東・河津・松崎・仁科・大仁経由　関東大震災の被害で一蹴　伊豆各町村の期待裏切られる
◇433　2009.3　B5　4p
明治時代の伊豆水上交通　千石船(日本型帆船)から汽船へと進歩した　南豆風土誌(静岡県賀茂郡)より　軽便鉄道設置の夢 虚しく

◆郷土研究誌かりや　刈谷市郷土文化研究会
〒448-0852愛知県刈谷市住吉町4-1
刈谷中央図書館内　℡0566-25-6000
◇30　2009.3　A5　116p
〈古書の国〉三河へ　塩村　耕
日本画家　加藤紫軒(続)　加藤修／加藤俊彦
塩を手に入れるということ　伊藤　利和
方巌売茶の「独健帳」を読む　永田　友市
縄張からみた刈谷城郭　平井　芳男
刈谷古城と水野氏　加藤　幸一
追悼　簗瀬一雄先生
史料紹介　野田村の「お寺」について　渡邊哲郎／佐藤つるゑ／稲垣恒夫／矢田富治
村上忠順と天誅組　山田　孝
加藤与五郎のシアトル航路　鈴木　哲
映画になった「天誅組」後日譚　鈴木　哲
調査報告書　刈谷の従軍記念碑と慰霊碑について　原田　光敏
無線塔解体の思い出　加藤　久夫
依佐美送信所記念館・小林クリエイト株式会社見学　竹中　兼利
田原市の文化と歴史をたずねて—田原市博物館・池ノ原公園・祭会館・城宝寺・城宝寺古墳・吉胡貝塚資料館　矢田　直幸
『かりや』第20号～第29号目次

◆郷土文化　名古屋郷土文化会
〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155
名古屋市鶴舞中央図書館　℡052-741-9822
年3000円
◇210（63-2）2009.2　A5　96p　1500円
織田越中守信照のこと　木全　秀視
尾張藩の宗教行政—修験を事例に　石黒　智教
味岡山香積院・般若台考　宮澤　和夫
春日井の俳諧(1)—内々神社奉納額、長谷川艸人(三止)の「俳諧一折」と内津の歴史を中心にして　大野　哲夫
図絵に見る尾張の街道風景(3)　櫻井　芳昭
清須花火・資料考—昼旗　半田　実

明治初期の県と村点描　中村　保夫
会員著書紹介『幕末の尾張藩』　村中　治彦
第38回研究発表要旨
　『武功夜話』研究の現状　松浦　由起
　『織田政権のモラトリアムと「覇
　　者」の類型』(上・下)における
　　正誤表　小林　正信
見学研究会「姫街道—東海道の脇
　街道の宿場町をたずねて」に参
　加して　阪口　泰子

◆文化誌 碧　碧の会
　〒446-0013愛知県安城市東別所町戌新畑1-
　53　河村方　℡0566-76-0204
◇24　2009.2　B5　44p　500円（抄）
イノシシの狩猟について　粕渕　宏昭
オリーブの加工とホルトノキ　中城　積
済州島食紀行　嶋野　卓
古き日の正月の思い出　八重田和久
カヤの食文化(3)　河村　和男

◆まつり通信　まつり同好会
　〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
　℡0567-37-0441　年5000円
◇540（49-2）2009.3　B5　8p　600円
三本木の獅子舞　石川　博司
京都の盆行事(1)
　—千本ゑんま堂を中心に　米田　幸寿
新国指定・登録・選択の民俗文化
　財—平成21年1月16日文化審議
　会答申

◆もりやま　守山郷土史研究会
　〒463-0075名古屋市守山区市場15-12
　道木正信方　℡052-791-2304　年3000円
◇28　2009.1　B5　212p
口絵　幸心村絵図／張州府志付図
　（春日井郡図　長久手古戦場図）
　／瀬戸街道の商店
森孝観音堂の石仏　市江　政之
瀬戸線あれこれ　伊東　重光
名水考　藤森　宏美
バイリンガル　西尾　春子
老人介護　梶野　二郎
宝暦時代の守山　道木　正信
瀬戸街道の商店　続き　道木　正信
資料紹介
　小幡村御觸留(20)
　　—明治七年　御用留　守山古文書の会
　小幡村文書—旧吉田家文書(2)　道木　正信
　天皇陛下御巡幸　馬場　勇
守山郷土史研究会の歩み(28)
　守山郷土史研究会
平成20年発掘調査現地説明会資料
　—志段味大塚・大久手古墳群
　守山郷土史研究会
名鉄瀬戸線「尾張旭検車区」　荒川　康彦

◆史 料　皇學館大学史料編纂所報
　〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
　℡0596-22-6462
◇219　2009.2　B5　6p　200円
外宮祭神皇御孫尊説とその周辺　平泉　隆房

近　畿

◆彦根城博物館だより
　〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1
　℡0749-22-6100
　www.city.hikone.shiga.jp/museum/
◇84　2009.3　A4　4p
シリーズ「直弼発見！」巻の６
　井伊直弼の甲冑と刀剣／テーマ
　展「国宝・彦根屏風」／テーマ
　展「湖東焼付絵師　自然斎」
金亀玉鶴　井伊直弼の将軍家定評
　野田　浩子
直弼のこころ—井伊直弼ゆかりの
　作品(4)　和歌短冊「春あざみ」

◆民俗文化　滋賀民俗学会
　〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5
　℡0740-36-1414　年4800円
◇545　2009.2　B5　12p　420円
自由・平等主義は人類を滅ぼす—
　未成年・無学者の保護・育成を
　すべきだ　菅沼晃次郎
「太閤御時代官録」文書について　中村　武三
近江伊吹山系の伝承(8)
　—君が代の故郷と木地師　馬場杉右衛門
マキノスキー場について
　—高島市マキノ町　粕渕　宏昭
暦で見た歴史—暦年因数とは　田中　春二
彦根城の築造伝承(3)
　—天守閣と鐘の丸　馬場杉右衛門
島の生活(64)—姫路市家島町　奥山　芳夫
オイチニの薬売り（前）　吉岡　郁夫
スキー帽について　粕渕　宏昭
◇546　2009.3　B5　12p　420円
中世城郭丸山城跡（新発見）
　—犬山郡多賀町下水谷　長谷川博美
山下幸内上書の伝内流写本（前）　中村　武三
近江伊吹山系の伝承(9)
　—朝妻舟と誇り高き女　馬場杉右衛門
ホハレ峠越え門入キャンプ(3)
　—旧徳山村変化し続ける現況　浅原　昭生
オイチニの薬売り（後）　吉岡　郁夫
断食について—彦根城博物館史料
　粕渕　宏昭
「高槻クラブスポーツ少年団」と
　共に—回想記(1)　奥山　芳夫

◆維新の道　霊山顕彰会
　〒605-0861京都市東山区清閑寺霊山町1
　霊山歴史館　℡075-531-3773
　www.ryozen-museum.or.jp
◇132　2009.1　B4　4p
年頭のあいさつ　維新の心、いま
　こそ新たに　谷井昭雄／稲盛和夫
特別寄稿　陸奥宗光と後藤又兵衛
　神坂　次郎
霊山歴史館2009年新春企画展「龍
　馬と同志　夢と苦難の足跡」1
　月25日まで開催
特別寄稿　霊山歴史館蔵「板倉槐
　堂肖像写真」について　蔵持　基
展示こぼれ話(2)
　金平糖好き　徳川家茂　木村幸比古
明治を創った人びと(129)
　中野竹子　湯田　祥子
史跡　今と昔(102)
　高山彦九郎皇居望拝之像　田中麻紗子
館蔵品の逸品(107)
　西南戦争西郷軍兵士陣中笠　木村幸比古
龍馬祭、京都東山に集う

◆大山崎町歴史資料館館報
　〒618-0071京都府乙訓郡大山崎町大山崎字
　竜光3　℡075-952-6288
◇15　2009.3　A4　20p
摂津国井内荘に関する二つの史料
　福島　克彦

◆京都市政史編さん通信
　京都市市政史編さん委員会
　〒602-0867京都市上京区寺町通丸太町上る
　松蔭町138-1　京都市歴史資料館内
　℡075-241-4312　city.kYoto.jp/somu/rekishi/
◇34　2009.3　A4　8p
『京都市政史 第1巻　市政の形成』
　発刊に際して　伊藤　之雄
戦後初期における京都市失業対策
　事情と失対労働者に関する覚書

（下）　杉本　弘幸

◆古代史の海　「古代史の海」の会
〒615-8194京都市西京区川島粟田町22
中村修方　FAX075-392-3743　年4000円
www.geocities.jp/kodaishinoumi2005/
◇**55**　2009.3　A5　108p　1500円
巻頭言　ラオスではなかった　半沢　英一
2008年・古代史総括　森岡　秀人
上代特殊仮名の根本的解明(10)　坂田　隆
会員ひろば　アンデス通信(8)　市木　尚利
「大津京」の定義と学術用語―林博通「「大津京」呼び名の正否」及び「飛鳥の「京」と大津の「京」」に対する疑問　櫻井　信也
古代日本の土木(5)　森　章
継体・欽明大王の時代(上)　山口　順久
豊前の石棚を持つ古墳　重村　英雄

◆史迹と美術　史迹美術同攷会
〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146　中西ビル内
FAX075-441-3159　年8000円
◇**792**（79-2）2009.2　A5　36p　960円
多田神社の建築―幕府造営霊廟を辿る(下)　加藤　繁生
鬼瓦百選(71)　小林　章男
カンボジア旅行記　木下　幹夫
第930回例会　長浜市旧浅井町の仏像・石造を訪ねて　岩崎　幸一
故片岡長治氏を偲んで　中西　亨
第31回総会報告
◇**793**（79-3）2009.3　A5　44p　960円
奈良県山辺郡山添村北野・極楽院の石造層塔等について(上)　辻　俊和
鬼瓦百選(72)　小林　章男
鰐口の銘文(6)　愛甲　昇寛
第931回例会　播磨の古刹・一乗寺から浄土寺へ　松永　修輔

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより
〒603-8577京都市北区等持院北町56-1
℡075-465-8151
www.ritsumei.ac.jp/kic/a06/
◇**46**（16-3）2009.3　A4　24p
スポット　米英軍艦一覧図
巻頭つれづれ　世界に発信し、世界とつながる　安斎　育郎
館長だより
歴史認識と「戦後解決」　高杉　巴彦
ミニ企画展開催報告（2009年1月～2009年3月）
ここが見どころ　太平洋戦争コーナー　シンガポールの攻防と平和教育への進展　桂　良太郎
運営委員リレー連載
12月7日の真珠湾攻撃　前田　忠彦
ミュージアムおすすめの一冊
『人を恋うロバ』美帆シボ歌集
事業報告
立命館附属校平和教育連続展示に関わって　角　一櫻
京都の高校生の平和への取り組みの紹介　秋山　吉則

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報
〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方　℡0724-28-0204　年1200円
◇**255**　2009.3　B5　12p
犬鳴山の伝承(1)
犬鳴山の由来(下)　樋野　修司
聞書・軍役と田尻町役場(下)　樫井賢三郎／北山理
移行期の群像(65)
寺僧の人々(26)　井田　寿邦

◆大阪の歴史　大阪市史編纂所
〒550-0014大阪市西区北堀江4-3-2
大阪市立中央図書館内　℡06-6539-3333
◇**72**　2009.1　A5　116p　700円
「大坂城之画図」について―古活字版『大坂物語』付図の紹介と考察　中村　博司
篠山藩青山家文書にみる大坂城代時代の絵図―概要の紹介　上田長生／鳴海邦匡
戦前期ハンセン病療養所における作業制度と患者自治―1932年外島保養院作業改革について　松岡　弘之
戦前・戦時期大阪におけるハンセン病者の処遇―大阪皮膚病研究所と大阪のハンセン病問題　廣川　和花
みおつくし　第四回内国勧業博覧会の誘致合戦　古川　武志
新刊図書紹介『雑喉場魚市場史　大阪の生魚流通』『悲田院長吏文書』『公害・環境問題史を学ぶ人のために』

◆大阪歴史懇談会会報
〒596-8691大阪府岸和田郵便局私書箱18号
FAX0724-38-4487　年5000円
www.homepage2.nifty.com/rekikon/
◇**294**（26-2）2009.2　B5　12p
歴史の物差し＝暦の話　逃げる二月は精算の年　上田　雄
1月例会報告(第269回)「近世大坂の成り立ち」松尾信裕氏／古文書講座(第115回)「久さんのラブレター」石川道子氏
見学会こぼれ話(5)　源氏物語千年紀によせて　源氏物語の人気の源　ひら仮名！　稲垣　隆造
◇**295**（26-3）2009.3　B5　12p
歴史の物差し＝暦の話　年初は冬か春か　上田　雄
2月例会報告(第270回)「近世城郭のお堀の防備について」中井均氏／古代史講座(第157回)「縄文までの大古代」松本正彦氏
見学会こぼれ話(6)　源氏物語千年紀によせて　紫式部　比類なき才能・過不足なき強かさ　稲垣　隆造

◆かいづか文化財だより　テンプス
貝塚市教育委員会
〒597-8585大阪府貝塚市畠中1-17-1
℡072-433-7126
◇**36**　2009.1　A4　8p
貝塚をはしる鉄道　水間鉄道
「名越　安養寺の鉦講」が大阪府の「記録作成の措置を講ずべき無形の民俗文化財」へ／現地見学会のお知らせ
古文書講座　古文書にみる雨ごい―水と人びとの結びつき
平成20年度の埋蔵文化財調査　土器を納めた土坑（穴）を発見！　沢城跡の調査／寺院の濠？を発見！　長楽寺跡の調査
貝塚御坊願泉寺の平成大修理

◆河童通心　和田寛
〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327
℡072-251-2586　年2400円
◇**304**　2009.2　A5　12p
河童の文化史　昭和後期(10)　和田　寛
「河童文庫」増加図書目録（二冊目の本を含む）
◇**305**　2009.3　A5　12p
河童の文化史　明治編(1)　和田　寛

◆河内どんこう　やお文化協会
〒581-0003大阪府八尾市本町5-1-1
ローレル八尾本町302　℡072-924-3363
◇87　2009.2　B5　110p　1200円
吉野山　花紀行　清水　健二
八尾の銅鐸　向井　一雄
布施地域の遺跡(上)　荻田　昭次
280年を経た八尾市有形文化財
「環山楼」管理あれこれ　二班担当グループ
八尾の橋(6)　ふたつの龍華橋　ちゃお
能　井筒　今中　宏永
伊勢物語23段第3節について(2)
注釈書の読み方と地元の伝承と
棚橋　利光
グラビア　八尾市制施行60周年協
賛・ユネスコ協賛「しおんじや
ま芸能」を開催して
高安ルーツの能実行委員会
グラビア　親子で楽しむウォーク
＆芋煮会レポート　山田　重昭
句碑めぐり　波多野惇子
短歌随想(20)　松岡　裕子
「藤井寺八景＋１」・市民の心の目
で　高野　剛
新･古美術　柴壺青花堂日乗(4)　尾山　宗海
青木薫の続おいしい八尾(4)
割烹　四季
伴林光平を知る―岩崎美隆と交流
鈴木　純孝
河内と摂津との接点を求めて
伴林光平の足跡を中心として　益尾　宏之
戦争遺跡を訪ねて(9)
―大正飛行場の水濠　大西　進
伝承を訪ねる旅　葬制と浄土信仰
堀井　建市
再び頼山陽作「送柘君績帰河内」　桝谷　政則
『河内名所図会』と高安の古墳
その後　松江　信一
山脇悦司理事長を偲んで　西野　民夫

◆近畿文化　近畿文化会
〒543-0021大阪市天王寺区東高津町11-9
日本生命上本町ビル５階
℡06-4304-7433　年2200円
◇711　2009.2　A4　12p　300円
幕末の砲台を巡る　来村多加史
大和の節分とオンダ　鹿谷　勲
近鉄沿線の建築(6)
奈良・菊水楼の建築について　川島　智生
◇712　2009.3　A4　8p　300円
有馬・三田の史跡　藤井　直正
上賀茂から下鴨へ　田中　嗣人

◆左海民俗　堺民俗会
〒593-8302堺市西区北条町2-10-18
生駒道弘方　℡072-277-6331　年3000円
◇129　2009.1　B5　12p
《特集　風呂・入浴》
昔の風呂と今の風呂　生駒　道弘
五右衛門風呂と私　濱田美代子
潮　湯　川村　淳二
母と銭湯と青春　川埜喜美江
銭　湯　西井　清和
「風呂・入浴」思いつくままに　佐原　浩二
荒木村重の墓　岸　繁司
「おうばい」?「こうばい」?　岸　繁司
例会報告と一口メモ
7月例会報告　紀州有田方面へ
のバス旅行　南清彦／熊ノ郷安生
9月例会報告
彼岸花の明日香を歩く　山崎　琢磨
10月例会報告　三田市散策　熊ノ郷安生

◆ヒストリア　大阪歴史学会
〒564-8680大阪府吹田市山手町3-3-35
関西大学文学部　西本昌弘気付
wwwsoc.nii.ac.jp/historia/
◇213　2009.1　A5　308p　1500円
《2008年度大会特集号》
〈部会報告〉
古代火葬墓の導入事情　北山　峰生
関連報告
火葬導入事情をめぐる覚書　小林　義孝
古代火葬墓の変遷―河内の事例
を中心に　安村　俊史
元服の儀からみた親子意識と王権
の変質　岩田真由子
「氏寺」から見た王家・摂関家の
成立　樋口健太郎
戦国期摂津における国人領主と地
域―摂津国人一揆の再検討を通
して　石本　倫子
大坂から大和への肥料流通―大坂
積方中と在方仲買を中心に　岡島　永昌
医療知識の移動と普及　海原　亮
明治初年の大阪における遊所統制
と「再編公娼制」　人見佐知子
コメント　明治初年の遊郭統制と
「遊郭社会」―人見報告によせて
佐賀　朝
田中耕太郎の高等教育論とその思
想史的位置について　船勢　肇
〈個人報告〉
９世紀の君臣秩序と辞官・致仕の
上表―状と枇答の視点から　廣瀬　憲雄

◆神戸史談　神戸史談会
〒654-0151神戸市須磨区北落合4-26-6
佐藤憲太郎方　℡078-793-5348　年3000円
◇303　2009.1　A5　48p
年頭所感　生田大海神社の棟札に
記された後神秀熙と橋本藤左衛
をめぐって　加藤　隆久
風果てぬ・北風正造外伝―出版記
念8月特別講演会より(大意)　須田　京介
初三郎地図　1930年の神戸
―9月例会講演から(大意)　三好　唯義
海人・ヒコホホデミについての考
察―続・九州からの東遷はない
どいかずこ
平野発見の「須恵器」と「備前焼
擂鉢」について　服部　晃
中世兵庫関について
―史談会講演会の報告から　重成　裕

◆市史研究さんだ
三田市史編さん専門委員会
〒669-1532兵庫県三田市屋敷町12-27　まちづくり部生涯学習支援室生涯学習課市史編さん担当　℡079-559-4466
◇11　2009.3　B5　124p
近世の九鬼氏三田藩・十丁町・魚
肥・蔵米・金物商について　三浦　俊明
資料紹介
天保12年「西国順礼万日記」
―記録資料の観点から　印藤　昭一
三田市役所に残る旧町村の事務
報告書　河島　真
『小寺泰次郎翁歴伝』稿本(3)
(四)
平成19年度「三田市史を読む会」
近世資料編の概要

◆西神ニュータウン研究会会報
〒651-2103神戸市西区学園西町1-1-1
UNITY 神戸研究学園都市大学交流センター　℡078-794-4970　年1000円
Seishin-nt.mok2.net
◇70　2009.1　A4　2p
第70回例会開催／西神ニュータウン研究会　第70回例会記録

◆地域史研究　尼崎市立地域研究史料館紀要
〒660-0881兵庫県尼崎市昭和通2-7-16
総合文化センター７階　℡06-6482-5246
www.archives.city.amagasaki.hyogo.jp
◇107（38-2）2009.3　A５　103p　850円
グラビア　橋本治左衛門氏文書
(2)より 日露戦争期の軍事書簡
園和住宅の建設　松田　佑
戦前の尼崎市民館について　宮城洋一郎
尼崎城門の領民通行―村々へ渡さ
れた「御門通札」　近藤　浩二
尼崎藩の領界碑について
―古文書調査からの検討　岸添　和義
史料紹介　日露戦争従軍者書簡等
について　田中　敦
尼崎関係新着史料・文献紹介
『地域史研究』第38巻総目次

◆摂播歴史研究　摂播歴史研究会
〒676-0004兵庫県高砂市荒井町千鳥2-23-12
℡079-442-0658
◇48　2009.3　B５　6p
淡路島の垣内遺跡の発掘に寄せて
廣瀬　明正
「元禄郷帳」の家数・人数につい
て―野田村・駒ヶ林村の検討　青野　克彦

◆西宮市立郷土資料館ニュース
〒662-0944兵庫県西宮市川添町15-26
℡0798-33-1298
www.nishi.or.jp/homepage/kyodo/
◇33　2009.3　B５　8p
西宮市名塩のトンド　細木ひとみ
寄贈資料一覧

◆西宮文化協会会報
〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
西宮神社内　℡0798-33-0321
◇491　2009.2　B５　8p
えびすの社(7)　祭りの日　平井　良朋
ちょっと昔の話(11)
旧い商店街の話　楠井　都志
伊勢参宮本街道を歩く(32)　吉井　貞俊
平成版東海道五拾三次　吉井　貞俊
◇492　2009.3　B５　8p
彷徨える聖武天皇（天平時代の光
と蔭）　山下　忠男
えびすの社(8)　境外ひと廻り　平井　良朋

◆歴史と神戸　神戸史学会
〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4　田中
印刷出版内　℡078-871-0555　年3000円
◇272（48-1）2009.2　A５　48p　600円
《特集　逆境のなかの博物館と事業展開》
芦屋市立美術館の現状　ＮＰＯ法
人による業務受託を通じて　明尾　圭造
川西市文化財資料館　岡野　慶隆
史人の道草つづり書き　神戸の亡
命ロシア人を訪ね歩いて　佐藤美友紀
戦時期自作農創設維持事業の可能
性と限界―大阪府豊能郡萱野村
を事例に　中村　昌民
地名研究(94)　西宮の地名探索
綾羽、呉羽、染殿　織女渡来伝
説と地名　渋谷　武弘
兵庫の戦後モダニズム建築(5)
尼崎市庁舎　笠原　一人

◆あかい奈良　グループ丹
〒630-8144奈良市東九条町6-4　℡0742-62-
3408　年2500円　www.akai-nara.net
◇43　2009.3　A４　46p　500円
特集　吉野山の桜
今日見心親　正倉院宝物の復元模
造(3)―もう一つの「本物」を
創る
考古学を愉しむ　食からのぞく奈
良の都(2)　平城の都のタケノ
コ　菅谷　文則
あかい奈良が行く古社寺巡礼
田原本町鏡作坐天照御魂神社
心の風景　飛鳥の春　井上博道／西村博美
あかい奈良インタビュー
研究者　佐藤道子氏
特集　近世の名大工棟梁　中井大
和守と奈良
奈良の伝統行事　小泉の御田植祭
鹿谷　勲
大和彩食館　大和の野菜に魅せら
れて(7)　春・下北春まな　三浦　雅之
明日香だより　春
甘樫坐神社　くがたち
季の詞　笑ふ　矢野建彦／矢野桃苑

◆水平社博物館研究紀要
〒639-2244奈良県御所市柏原235-2
℡0745-62-5588
www1.mahoroba.ne.jp/~suihei/
◇11　2009.3　A５　81p　1000円
全国水平社少年代表
―山田孝野次郎の生涯　仲林　弘次
1920年代の融和運動における演劇
活動についてのノート―「因襲
の幽霊」をめぐる顛末から　本郷　浩二

◆帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要
〒631-0062奈良市帝塚山7-1-1
℡0742-32-5708
◇11　2009.2　B５　80+25p
久美浜泰平寺の地蔵菩薩立像につ
いて　駒井　優子
戦国期における「七観音詣」「七
人詣」について―『言継卿記』『実
隆公記』の記載を中心に　田中　香織
享保年間における歌舞伎興行と上
方役者の江戸下りについて　伊東　航
平安時代の緑釉瓦　鈴木　久史
学位論文要旨・審査結果報告
参詣曼荼羅の歴史学的研究　大高　康正
わが国古代寺院にみられる軍事
的要素の研究　甲斐　弓子
京丹後市(旧網野町)調査報告(8)
井上匡史／高柴季史子
資料紹介
帝塚山大学大学院所蔵の軒瓦　新井場　萌
帝塚山大学大学院所蔵軒平瓦　木村　友紀

◆奈良学研究　奈良学学会
〒631-8501奈良市帝塚山7-1-1　帝塚山大学
奈良学総合文化研究所　℡0742-48-8842
◇11　2009.1　A５　147p
辰市郷祭礼と春日社司―元禄五年
辰市郷祭禮正預頭役之記を中心
に　松村和歌子
近世高山郷における勧化と接待　高田　照世
薬師寺金堂薬師如来像台座異形像
と『金光明経』　戸花亜利州
浄瑠璃寺吉祥天像について　海老原真紀
法隆寺の近世密教関係遺品(6)　関根　俊一
奈良の花街年表
―花街　元林院を中心に　勝部　月子
近世奈良 阿字万字町「記録」(二)
について　安彦　勘吾
公開講座記録

◆奈良県立同和問題関係史料センター研究紀要
〒630-8133奈良市大安寺1-23-1
℡0742-64-1488
◇15　2009.3　A５　127p
『明治之光』の復原と基礎的研究　井岡　康時
明治期被差別部落における知的世

界の境域—中村諦梁と内村鑑三
とその周辺　奥本　武裕
中世興福寺「盲目」の考察
—正月参賀を題材として　山村　雅史
宝暦元年南里村氏神神体勧請一件
覚書—夙村と土御門家　吉田栄治郎
特別寄稿　民俗学から見た大和の
ムラ　市川　秀之

◆吉野路　樋口昌徳
〒638-0001奈良県吉野郡下市町阿知賀3290
℡0747-52-9098
◇120　2009.2　A5　20p
吉野路の点景(49)　吉野路の西南
・和歌山県境に聳える護摩壇山
頂上のスカイタワー（野迫川村
護摩壇山頂上）
ごあいさつ　樋口　昌徳
吉野路に見る南朝の遺跡(68)
南朝について—南北朝分裂の経
過
吉野山皇居跡に「前登志夫歌碑」
建立　平成20年11月25日除幕
図書紹介『修験道大結集』監修・
金剛峰寺／『維新の魁・天誅組』
著者・舟久保藍
句碑めぐり(59)　五條市西吉野町
立川渡・神龍寺に「安藤明女句
碑」建立(三河の俳人)　平成20
年11月29日除幕
道標(97)　多武峰から吉野への道
(7)「関戸峠」と「佐倉峠」
天誅組の変　天誅組とは…？
吉野町宮滝に「万葉歌碑」を建立
平成20年10月除幕
雑感と後記　樋口　昌徳

◆和歌山地方史研究　和歌山地方史研究会
〒649-6258和歌山県岩出市山980-2-1312
江本英雄方　年3000円
wakayamachihoshi.hp.infoseek.co.jp
◇56　2009.2　A5　84p
《特集　有形民俗資料の最新事情》
問題提起
和歌山県における有形民俗資料の
文化財指定と保存について　蘇理　剛志
民具と有形民俗文化財—文化財指
定にむけた基礎作業から　加藤　幸治
つくるものから語るものへ—新指
定文化財「保田紙の製作用具」
をめぐって　蘇理　剛志
漁撈習俗と漁民信仰—和歌山県日
高郡印南町、御坊市名田町の事
例を中心として　裏　直記
太地における捕鯨銃砲類の導入—
太地町立くじらの博物館所蔵捕
鯨銃砲コレクション解説　櫻井　敬人
和歌山県における有形民俗資料の
課題　藤井　弘章
地籍図による太田城水攻め堤防の
復元　湯峯　愛
和歌山大学紀州経済史文化史研究
所(大学博物館)について　梅田　志保

中国・四国

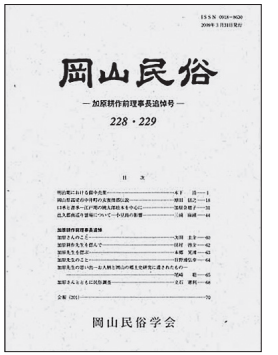
◆鳥取県立公文書館研究紀要
〒680-0017鳥取市尚徳町101
℡0857-26-8160
◇5　2009.3　A5　113p
澤田廉三の手紙
—敗戦前後の活動を中心に　清水　太郎
初代郡長の経歴(補遺)
—多気郡長・梶川弥平の事例　伊藤　康
日本のアーカイブズとその未来　松岡　資明
碑文は端折る
—電気・水道の誕生前後　安藤　文雄
女性県会議員・田中花子の自筆ノ
ート—『人生記録』をよむ(2)　野崎喜代美
野における太一郎研究の集大成　西村　卓

◆北東アジア文化研究
鳥取短期大学北東アジア文化総合研究所
〒682-8555鳥取県倉吉市福庭854
℡0858-26-1811
◇29　2009.3　A5　64p
安龍福事件と鳥取藩　朴　炳渉
韓国の子ども図書館の現状と課題
—ソウル市立子ども図書館を中
心に　韓相吉／宍道勉

◆米子市史だより　米子市史編さん事務局
〒683-0822鳥取県米子市中町20
℡0859-22-7208
◇28　2009.3　A4　8p
多彩な模様を織り出す弓浜絣　梅林　智美
明治初期の義方小学校　杉本　良巳
堺妙国寺日珖上人、妙興寺と米子
城執政家老横田内膳　酒井　教仁

◆岡山の自然と文化　郷土文化講座から
岡山県郷土文化財団
〒700-0813岡山市石関町2-1
℡086-233-2505
◇28　2009.3　A5　242p
オリエント美術館は「郷土文化」
か—オリエント美術館29年の歩
みと取り組み　谷一　尚
岡山城と城下町
—掘って・比べて・考える　載岡　実
岡山県下の巨樹・老樹の治療実例
とその後の経過について　山本　利幸
吉備真備　今津　勝紀

◆岡山民俗　岡山民俗学会
〒700-0062岡山市大安寺中町11-17
次田圭介方　年4000円
◇228·229　2009.3　B5　79p
《加原耕作前理事長追悼号》
明治期における備中売薬　木下　浩
岡山県高梁市中井町の玄賓僧都伝
説　原田　信之
口承と書承—江戸期の桃太郎絵本
を中心に　加原奈穂子
邑久郡南巡り霊場について
—小豆島の影響　三浦　麻緒
加原耕作前理事長追悼
加原さんのこと　次田　圭介
加原耕作先生を偲んで　田村　啓介
加原先生を偲ぶ　本郷　晃溥
加原先生のこと　日野浦弘幸
加原先生の思い出—お人柄と岡
山の郷土史研究に遺されたも
の　尾崎　聡
加原さんとともに民俗調査　立石　憲利



＊平成20年３月に80歳で亡くなられた岡山民俗学会前理事長 加原耕作氏を追悼する文章で、次田圭介氏が高校生時代の加原氏について、大変に興味深い出来事を紹介している。加原氏は昭和14年に岡山県久米郡旭町に生まれ、県立落合高校から岡山大学に進み、歴史

学を学んだ。その高校生時代（昭和20年代後半）、同校には在学中の生徒に対して「特殊研究奨励制度」を設けていた。それは、あるテーマに取組んで、自ら研究や調査、制作をする方法を学び、社会に出る者も進学する者も、「将来自らの個性を最もよく生かし得るようなテーマを見つける態度を養って貰いたい為」のものであった。加原氏は同校教諭の指導のもとで、夏休みを使って実地調査し、共同調査『蒜山盆地の民俗』をまとめた。その成果は岡山民俗学会の目にとまり、昭和31年に同会の報告書として刊行された。加原氏ら生徒たちも素晴らしいが、このような制度があったこと自体に感動する。加原氏は大学卒業後、県立高校教諭、県教委、県立博物館で活躍し、多くの研究業績を上げている。その原点は高校生時代にあった。

同号掲載の加原菜穂子氏「口承と書承－江戸期の桃太郎絵本を中心に」も、大変に面白い論考である。書承とは耳慣れない言葉であるが、文字、図像を媒体とする伝承を指す。口承と書承はこれまで別の手法として扱われてきたが、著者は桃太郎絵本の場合は、「絵解き」の読まれ方が主であることから、統合した見方が必要であると指摘する。江戸時代に流通した30余種の絵本を取り上げ、この時代の桃太郎本の格好の話題である、桃太郎の誕生について、回春型、果生型のあり様などを詳細に析出して見せてくれる。

◆きび野　岡山県郷土文化財団
〒700-0813岡山市石関町2-1
℡086-233-2505
◇113　2009.3　A5　18p

随 想
　岡山市政令指定都市誕生に想う　太田　健一
　日本酒の話　菊池　東
　広げた絵図から見えてくるもの　赤木里香子
岡山の自然
　落葉樹林下に咲く春の妖精　地職　恵
岡山の文化財
　閑谷神社（旧閑谷学校芳烈祠）　横山　定
岡山の人物　小野竹喬　上薗　四郎
岡山の文学碑　抱節先生碑　内田　誠也
わが町・わが村の自慢
　吉備路のれんげ畑（総社市）
岡山の匠
　塩見敏子（吉備津の「こまいぬ」）
地域文化創造に向けて　宇喜多堤
　築堤420周年記念事業（早島町）
美術館・博物館めぐり
　誕生寺宝物館（久米南町）
文化財団ニュース／会員だより

◆倉敷の歴史　倉敷市総務局総務部総務課
〒710-8565岡山県倉敷市西中新田640
℡086-426-3127
www.city.kurashiki.okayama.jp
◇19　2009.3　A5　125p

羽島貝塚、磯ノ森貝塚の年代学的研究　遠部慎／加藤久雄　米田穣／畑山智史
平安末期における天台僧の修行巡礼―青蓮院門跡吉水蔵聖教にみえる備前・因幡・伯耆　岡野　浩二
掛屋になること―幕末社会における情報蒐集　岩城　卓二
「吉備日々新聞」に関する一考察―民権期御用新聞の研究　太田　健一
近世初期岡山藩における年貢割付についての若干の考察―渡辺数
　馬と児島郡粒江村の関係から　内海　英樹
聞き書き昭和史　水島航空機製作所で過ごした日々　藤井　実

郷土史家紹介　永山卯三郎―その事績と著作目録　大森　久雄
史料群紹介　倉敷市所蔵備中国浅口郡西阿知村阿部家文書・倉敷市所蔵備前国児島郡呼松村田中家文書　小林　悠一
アラカルト
　兵庫北関入船納帳』に見る南浦の比定地について（続）　三宅　克広
　高梁川流域問題と大原總一郎　坂本　忠次
倉敷市「公文書館のあり方検討会」報告（概要版）／新刊紹介

◆芸備地方史研究　芸備地方史研究会
〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3　広島大学大学院文学研究科日本史学研究室内
℡082-424-6643　年3000円
◇264　2009.2　A5　46p

動向　広島県の地方史研究／鈴峯
　オープンカレッジの記録／新聞記事から
芸備掲示板
　平成20年度冬の展示会「甦る広島の遺跡―ひろしまの歴史はっくつ―」　広島県立歴史民俗資料館
　企画展「毛利氏 VS 天下人―瀬戸内の戦乱、そして平和―」　広島県立歴史博物館
　開館20周年記念リバイバル展　広島県立文書館
　第11回企画展「佐久間艇長とその時代」（仮）　呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）
史跡をあるく　安芸国分寺塔跡
菊間瓦に関する一考察（上）　福原　茂樹
豊臣期毛利氏の備後国における動向―神辺周辺を対象として　横畠　渉
伊予史談会交流報告

◆備陽史探訪　備陽史探訪の会
〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
℡084-953-6215
◇146　2009.2　A4　12p

大元山古墳の謎　田口　義之
平成21年度総会開催
行ってきました、播磨の古墳　湯川　勝彦
六月一泊旅行　南山代、その輝ける歴史の道をゆく／青春きっぷの旅　米子の史跡をのんびり歩く
高野槇の思い出　根岸　尚克
入会五年目に思うこと　「備陽史探訪復刻版」を読みながら　岡田宏一郎
祭主巡行　後藤　匡史

◆広郷土史研究会会報
〒737-0112広島県呉市広古新開2-1-4
呉市広公民館内　℡0823-71-0706
◇90　2009.3　A4　16p

広大新開　講中について　矢口　一美
広島水力電気会社の設立と経営　千田　武志
広甘藍ものがたり　小栗　康治
古文書部会の報告・例会報告　吉田　顕治

◆広島民俗　広島民俗学会
〒739-1521広島市安佐北区白木町三田2810
栗原秀雄方　℡082-829-0341
◇71　2009.3　A5　33p　500円

宮島の伝説と世間話―霊異・怪奇を語る　栗原　秀雄
厳島信仰のひろがり　岡崎　環
広島県内各地の管絃祭　藤井　昭
シルクロードと厳島　松崎　哲

◆みよし地方史　三次地方史研究会
〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂
新祖隆太郎方　℡0824-44-2694

◇78　2009.3　B5　14p
三次町古地図に見る川の謎　伊藤　正壮
三次監獄今昔—明治編　瀬川　信二
和智誠春の実名の読み方について　新祖隆太郎
三次地方の珍しい地名(12)　皆瀬(かいぜ)／時打(ときうち)と一の渡橋(いちのわたりばし)

◆わが町三原　みはら歴史と観光の会
〒723-0062広島県三原市本町1-9-27
TEL0848-62-2935
◇215　2009.2　B5　12p
今月の各地　神明さんのこと　田邊　達雄
〈第9回(旧)三原一周膝栗毛 参加者の感想文〉
(旧)三原一周膝栗毛を完歩して　松田　好登
(旧)三原一周膝栗毛を完歩して　中島三和子
(旧)三原一周膝栗毛に参加して　正兼　鐵夫
井上春忠とその後(2)　大谷　和弘
◇216　2009.3　B5　12p
今月の各地　卒業　寺泊　保夫
井上春忠とその後(3)　大谷　和弘
トンネルが拓いた給･排水路(2)　鈴木　健次
春のハイキング「佐木島探訪」のご案内　大谷　和弘

◆徳島県立博物館ニュース
〒770-8070徳島市八万町向寺山
徳島県文化の森総合公園　TEL088-668-3636
www.museum.tokushima-ec.ed.jp
◇74　2009.3　A4　8p
世界最大のシーラカンス
マソウニア・ラボカティ　辻野　泰之
Culture Club　早春のヒマラヤ照葉樹林帯を歩く　茨木　靖
速報　徳島市内でプラタナスグンバイを発見　山田　量崇
平成21年度第1回企画展　ブラジルの化石と大陸移動の証人たち
館蔵品紹介　雛掛軸　庄武　憲子
Q＆A　蒔絵師桃枝について教えてください　大橋　俊雄

◆小松史談　小松史談会
〒799-1101愛媛県西条市小松町新屋敷甲3007-1　西条市立小松温芳図書館郷土資料室
TEL0898-72-5634
◇135　2009.1　A5　82p
年頭の御挨拶　重松　二郎
伊予聖人・近藤篤山先生　渡部　盛幹
点描・一柳健之助　武司　典男
お妾「と起」の半生　石丸　敏信
歌人・近藤忠行　伊藤　隆志
ロマンの花・小松の椿　黒川　雅子
近藤篤山　寂寥独歌(4)　菊川昭寿／越智弘
新宮あれこれ　玉井　公一
忘れられた日本の農業　田野岡康之
第１回　宇和島方面史跡巡り　編　集　部
第２回　ふる里探訪・石碑めぐり　編　集　部
古文書紹介「往来手形」　石丸　敏信
小松の文化財「石根１号古墳の整備と保存について」　友澤　明

◆秦史談　秦史談会
〒780-0023高知市東秦泉寺283
松本紀郎方　TEL088-875-6671
◇150　2009.3　B5　57p
《第150号記念誌》
祝『秦史談・百五十号』　広谷喜十郎
150号記念「ひとこと」集
日々雑感　西方　郁子
趣味としての書は面白い　笹原　保博
温故知新　毛利　俊男
美人小路で龍馬と出会う　瀬戸　鉄男
消えていった風景　松下　政司
『大字典』の紹介について　三谷萬佐雄
最近の『秦史談』から　瀬戸　鉄男
「生きる」　松本　紀郎
岡村庄造氏の「拓本集」を拝見して　広谷喜十郎
150号お目出度うございます　岩崎　義郎
豚とスクーターの想い出　永国　淳哉
秦史談会発足のころ　岡村　庄造
空海と書道(1)　笹原　保博
民権ばあさん物語「馬とはちきんさん」(15)立志社創立　久米生太子／藤本知子
板碑の世界(新聞から)　秦泉寺静興
チエリ抄(2)　永国淳哉／藤本知子
川田小一郎の功績　鍋島　静一
土佐のわらべ歌(1)　藤本　知子
忘れがたき友　羽崎幹雄君の遺稿「ふるさとの風韻」　瀬戸　鉄男
秦の昔話　永野美智子
浦戸湾史について　広谷喜十郎
チエリ抄(3)　永国　淳哉
桜井戸物語(2)—神力山要法寺境内　毛利　俊男
明治維新時の士と民と　松本　紀郎
昭和の記憶(6)　中畑　中道
秦史談会(150号)のあしどり
岡村庄造氏拓本集から(12)　岡村　庄造

九州・沖縄

◆九州史学　九州史学研究会
〒812-8581福岡市東区箱崎6-19-1
九州大学文学部日本史学研究室内
TEL092-642-2375
www.lit.kyushu-u.ac.jp/his_jap/kyushusigaku/
◇152　2009.1　B5　78p
近世前期の島津氏系譜と武家相続・女子名跡　林　匡
〈2007年度九州史学研究会大会公開講演〉
国民帝国・日本の展開と学知の位相　山室　信一
異国船打ち払いの時代 「海防」のアウトサイド・ヒストリー　横山　伊徳
2007年度九州史学研究会大会発表要旨
書評　荒木和憲著『中世対馬宗氏領国と朝鮮』　関　周一

◆末盧国　松浦史談会
〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1
TEL0955-73-3549　年2000円
◇177　2009.3　B5　20p
佐賀県重要文化財　木造千手観音菩薩立像　志佐　惲彦
日の目を見なかった「残念石」—大坂城とバールベック神殿　堀川　義央
本を出しました『九州の一揆　打ちこわし』　宮崎　克則
「会議」を開く庄屋たち　宮崎　克則
松浦圏で唄い継がれた「釜ふたかむせ」　内田　清
おもしろ昔ばなし「釜ふたかむせ」　川添　徳治
金史良と唐津の海　大嶋　仁
藤原広嗣と万葉歌　岸川　龍
近松寺の古文書(6)　寺沢　光世
ようこそ旧高取邸(国指定文化財)へ　田中　保馬
埴輪窯跡の発見—仁田古墳群の調査について　美浦　雄二
ロザリオの島を巡る旅(2)　佐々木市太郎

◆鹿児島地域史研究　鹿児島地域史研究会
〒890-0065鹿児島市郡元1-20-6　鹿児島大

学教育学部日隈研究室　℡099-285-7847
kchiiki.kachoufuugetu.net/index.html
◇5　2009.2　A4　45p
「日向神話」と南九州、隼人
—出典論との関わりから　原口耕一郎
中近世移行期における島津氏の京
都外交—道正庵と南九州　岩川　拓夫
中世前期の遠州灘で漂流した薩摩
人　橋口　尚武
第46回中世史セミナーの記録

◆市史研究ふくおか
福岡市博物館市史編さん室
〒814-0001福岡市早良区百道浜3-1-1
℡092-845-5245
◇4　2009.2　A4　150p
《特集　御家騒動と家臣団》
講演　黒田騒動と家臣団の形成　福田　千鶴
講演　鍋島騒動と『葉隠』　高野　信治
シンポジウム　近世大名黒田家と
家臣団　柴多一雄／江藤彰彦
高野信治／福田千鶴
史料紹介　日記に見る幕末福岡藩
の足軽の生活について　八嶋　義之
太宰府所在の薩摩塔　井形　進
筑前国早良郡鎮守盛社について　吉良　国光
海のスラゴッ　松村　利規

謎もときましよ　俄も仕ましよ
粋で磨いた博多っ児　松本　常彦
敗戦後の福岡における演劇・芸能
復興年表　石川　巧
ＧＩＳを利用した考古学情報デー
タベース作成—福岡市史考古特
別編における試み　宗　建郎
鴻臚館から大宰府への道—水城西
門ルート福岡市内探索の中間報
告　吉留　秀敏
＊平成20年度が、黒田長政生誕440年に当たることから、福岡市博物館は「特別展　黒田長政と二十四騎—黒田武士の世界」を開催した。本号はそれに合わせて行われた二つの講演とシンポジウムの内容を特集する。
福田氏は、武家の家臣団の形成が、通常「主君と情緒的な一体感を持ちながら出頭人となっていく」パターンと、「大名とは御恩と奉公の関係である程度の契約的な関係のもとに結ばれているというような主従関係」のパターンが一般的であるが、黒田家においては、出頭人型から出発して、後者の家老型に定着するというねじれが存在し、そこに家臣団における主従の絆の強さがあったと指摘する。一方、高野氏は、鍋島氏には黒田のような主従意識が成立せず、それへの複雑な思いが、「鍋島侍」という言葉を生み、山本常朝に『葉隠』を書かせる背景になったが、同書が武士道書の典型のように扱われ、近代になると主君に対する忠君意識が、天皇に対するものとして読まれるようになるのは、不幸な読まれ方であると述べる。シンポジウムは、二人の講演を受けて、福岡藩と佐賀藩の家臣団形成と御家騒動を巡り、切り込んだ議論が交わされる。御家騒動の発生原因が、家臣団形成の性格と関わっているというのは興味深いことである。

◆宮古郷土史研究会会報
〒906-0007沖縄県宮古島市平良字東仲宗根
42　県立図書館宮古分館内
℡09807-2-2317
◇171　2009.3　B5　6p
3月定例会レジュメ　戦後宮古の
文化活動—社会教育・文化施設
を中心に　砂川　幸夫
1月定例会のあらまし
昔の子どもの遊び　上地　洋子
2月定例会のまとめにかえて　ノ
ッチの年間形成速度の試算でし
た　安谷屋　昭
鍛冶と鉄の伝来説話にみる鉄の力
下地　利幸
薩摩藩の琉球侵略400年　5月9日
基調報告とシンポジウム
宮古ペンクラブ『ぺん遊ぺん楽』
第二集　仲宗根將二
波照間島紀行　仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆上北町史資料集 中　みちのく双書52
青森県文化財保護協会（〒030-0111　青森県青森市荒川字藤戸119-7　青森県立図書館内　℡017-739-4211）2009年3月　A5　217頁
昭和61年に刊行された『上北町史』上巻の編纂・執筆のために収集された資料を紹介する資料集中巻。2008年刊行の上巻に引き続き、天保年間の大肝入所の記録、手形等の証文類、銅・大豆などの収集に関する43点の史料を翻刻・収録する。

◆秋田県庁文書群目録6
明治40年～大正15年②
秋田県公文書館編・刊（〒010-0952　秋田市山王新町14-31　℡018-866-8301）2009年1月
A4　117頁
廃藩置県以後、明治5年3月の開庁から昭和22年の地方自治法施行までを第１期として目録化している秋田県庁文書群目録の第５集。目録では県庁文書群を数十回にわたり行われた組織改編ごとに時期区分し、本書には明治40年７月15日の組織改編下で作成された簿冊群のうち、内務部教兵課・農務課・農商課・商工課・勧業課・耕地課・会計課、警察部衛生課の簿冊を収録する。また、秋田県庁組織変遷表（明治40年～大正15年）を付す。

◆飛島　東北一万年のフィールドワーク1
チーム「あるく・みる・きく」編　東北芸術工科大学東北文化研究センター（〒990-9530　山形県山形市上桜田200　℡023-627-2168）
2009年2月　B5　50頁
文部科学省オープン・リサーチ・センター整備事業「東北地方における環境・生業・技術に関する歴史動態的総合研究」として取り組んでいる「映像アーカイブの高度な活用に関する研究」の報告書。学生たちによる島に暮らす人々からの聞き書きを中心にまとめる。
飛島・ムラの記憶（勝浦、中村、法木）／島の一年（海と暮らす、ヤマと暮らす、島といのり）／島の環境と変化（島のすまい、水とその利用、外に開かれる島）

◆東北地方における環境・生業・技術に関する歴史動態的総合研究　平成20年度私立大学学術研究高度化推進事業「オープン・リサーチ・センター整備事業」研究成果報告書
東北芸術工科大学東北文化研究センター編・刊（同上）2009年3月　A4　160頁
〔第１部〕　研究の概要（田口洋美）
〔第２部〕　研究の進捗状況　プロジェクト１「東北地方における環境・生業・技術に関する歴史動態的総合研究」　民俗班における研究の進捗状況（菊地和博）／歴史班における研究の進捗状況（入間田宣夫）／考古班による研究の進捗状況（福田正宏・北野博司）／プロジ

ェクト２「映像アーカイブの高度な活用に関する研究」（岸本誠司）
〔第３部〕　調査・研究成果報告　平成20年度東北地方の山伏神楽・番楽と地域社会（菊地和博）／山間村落の変容―福島県の木地師村落を中心に（野本寛一・川合正裕）／山形県飛島及び秋田県男鹿半島戸賀地区の漁村集落調査等（森本孝）／青潮文化圏における環境・生業・技術に関する調査（李恵燕）／近世・近代の「骨寺村」（竹原万雄）／縄文文化と極東ロシア新石器文化の比較考古学（福川正宏・イーゴリ Ya.シェフコムード）／山伏神楽、番楽など村の伝統芸能を取り巻く地域社会の問題と明日（星野紘）／縄紋文化を考える（安斎正人）／環状列石と縄文社会（佐々木藤雄）／北上川下流域における縄文文化晩期の地域相（小林圭一）
総括（田口洋美）／本事業に関する調査・研究実績一覧（平成20年度）／本事業に関する新聞記事等掲載一覧（平成20年度）

◆近世文書20

南相馬市原町古文書研究会編　南相馬市博物館（〒975-0051　福島県南相馬市原町区牛来字出口194　℡0244-23-6421）2009年3月　A4　63頁
旧原町市内に伝わる古文書の解読・調査・研究のため昭和59年度に発足した原町市古文書研究会による近世文書の解読研究の成果報告書の最終集として、第18集・第19集（2007年・2008年）にひきつづき、紺野昭義家所蔵「万勘定諸式箇条規定書」を収録。読みやすさのために上段に原文書、下段に読み下し文を掲載する。凡例／解説／万勘定諸式箇条規定書（3）／近世文書発行一覧

◆福島県歴史資料館収蔵資料目録40

県内諸家寄託文書34
福島県歴史資料館編・刊（〒960-8116　福島県福島市春日町5-54　℡024-534-9193）2009年3月　B5　56頁
昭和49年度から刊行を開始した福島県歴史資料館の資料目録の40冊目として、３件の寄託・寄贈文書の目録を収録する。斎藤文郎家文書　その２（200点）／旧木幡村立木幡中学校所蔵教科書類（379点）／杉内重義家寄贈文書　その１（190点）

◆自在院史料集4

自在院蔵「黄檗版大蔵経」報告書
阿住義彦編　真言宗豊山派自在院（〒965-0031　福島県会津若松市相生町2-18）2009年3月　A4　160頁
自在院経堂内輪蔵に収蔵されている『黄檗版大蔵経』について、天和年代の当初版から改刻されてきた状況もふまえながら、現状の詳細な調査報告とともに目録を収録する。はじめに／調査報告編（収蔵概要、個別事項／目録編／おわりに／図版

◆新編倉渕村誌4　通史編
倉渕村誌編さん委員会編　倉渕村誌刊行委員会（〒370-3402　群馬県高崎市倉渕町三ノ倉303　高崎市倉渕支所　℡027-378-3111）2009年3月　B5　696頁
2006年1月に高崎市に編入された倉渕村の新編村誌。合併前からの編纂事業計画を引き継ぎ、旧版『倉渕村誌』（1975年刊）以降の村の歩みや新出資料などを民俗編・自然編、資料編（2巻）、通史編の全4巻完結である。
原始・古代（原始・古代、旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳から平安時代）／中世（はじめに、鎌倉時代、南北朝時代、戦国時代）／近世（領主の支配と村の成立、村の土地と農民の生産活動、産業と交通、災害と騒動、信仰と文化）／近代・現代（村の政治、産業・経済の発展、地域のくらし、戦争と人々の生活、災害と防災、教育の発展、宗教）／年表、参考資料／付図　倉渕村管内図（字切図）

◆埼玉県史料叢書6（下）
入間・熊谷県史料二
埼玉県教育委員会編　埼玉県（〒336-0011　さいたま市浦和区高砂4-3-18　埼玉県立文書館　℡048-865-0112）2009年3月　A5　504頁
明治初年から昭和前期にかけての埼玉県政史料と新出重要史料を収録する『埼玉県史料叢書』の最新巻として、明治4年11月から同6年6月にかけて存在した入間県の布告・布達等を収録する。入間県布告・布達集（明治四年、明治五年、明治六年）／入間県職員録／入間県等職員履歴／入間県戸長名簿／入間県布告・布達一覧、入間県職員表、入間県大区小区町村戸長名表、入間県上申・指令・往復文書一覧

◆諸家文書目録Ⅶ　収蔵文書目録48
埼玉県立文書館編・刊（〒336-0011　さいたま市浦和区高砂4-3-18　℡048-865-0112）2009年3月　B5　261頁
米沢藩上杉家家中島津家文書・萩藩毛利家家中井原家文書等の武家文書や村方文書、さまざまな行政資料など、昭和53年（1978）から平成2年（1990）にかけて寄贈・寄託または独自に収集した28件6788点の文書群を集録する。

◆千代田の古文書―区内関連文献史料調査報告書　千代田区文化財調査報告書17
千代田区教育委員会・千代田区立四番町歴史民俗資料館編・刊（〒102-0081　東京都千代田区四番町1　℡03-3238-1139）2008年3月　A4　179頁
武家の古文書（18点）／商家の古文書（6点）／その他（8点）／草創名主矢部家の系譜について（吉原健一郎）／旗本御家人の系譜についての一考察（滝口正哉）／江戸の炭薪流通に関する一考察（滝口正哉）／麹町常仙寺の略縁起について（加藤紫識）／千代田区四番町歴史民俗資料館蔵「御守札」再考（加藤紫識）／付図（旗本　裏二番町小笠原家系図、旗本　小石川田村家系図、西丸裏門番与力　安藤家系図、根来百人組与力　崎山家系図、禁裏使番　長井家系図、江戸城内の図）

◆原胤旧蔵資料調査報告書（1）
―江戸町奉行所与力・同心関係史料
千代田区教育委員会・千代田区立四番町歴史民俗資料館編・刊（同上）2008年3月　A4　293頁
幕末に南町奉行所与力を勤めた原胤昭（1853～1942）旧蔵資料について、平成18年4月から同21年3月にかけて行われた資料調査の成果から10点を収録する。解説（加藤貴）／原胤昭旧蔵資料目録／史料（与力・同心の職務手控、与力・同心の職務記録、与力・同心の名簿類）／与力・同心の由緒書・親類書について（西脇康・加藤貴）／旧幕府引継書の基礎的研究（加藤貴）／南町与力由比家の系譜と「由比翁筆　辞世」（滝口正哉）／原胤昭旧蔵資料目録補遺／／南町奉行所与力・同心一覧／南町与力由井氏系図

◆武相の結社―叢生の時代（前期）・再編の時代（後期）　民権ブックス22
町田市立自由民権資料館編　町田市教育委員会（〒195-0063　東京都町田市野津田町897　℡042-734-4508）2009年3月　A5　107頁
2008年度企画展「武相の結社―叢生の時代（前期）・再編の時代（後期）」の記録／記念講演　民権結社の活力と機能―都市と地域から考える（福井淳）／記念講演　結社の再編―〈政治〉と〈智徳〉のあいだ（松崎稔）／史料紹介　自由党南多摩郡の報道書（松崎稔）

◆厚木市史　近世資料編（5）
村落３・荻野山中藩
厚木市教育委員会教育総務部文化財課市史編さん係編　厚木市（〒243-8511　神奈川県厚木市中町3-17-17　℡046-225-2060）2009年3月　A5　960頁
『厚木市史』の第10回配本。厚木市域の近世に生まれた36箇村のうち、小鮎・荻野地区内

の6箇村の村々や江戸時代の中ごろ荻野地区に居を構えた大久保氏荻野山中藩に関する資料571点を収録する。飯山村／上古沢村／下古沢村／上荻野村／中荻野村／下荻野村／荻野山中藩／付録　寛文6年(1666)12月 飯山村新開発新林停止裁許絵図、天和2年(1682)3月 及川村・上荻野村入会運上山裁許絵図

◆新横須賀市史　資料編　近現代Ⅱ

横須賀市編・刊（〒238-8550　神奈川県横須賀市小川町11　横須賀市総務部総務課　市史編さん担当　℡046-822-8150）2009年3月　A5　1066頁

2004年から刊行開始された新市史の第6回配本。明治40年(1590)の市政施行から、昭和初年、昭和恐慌や満州事変の時代までの横須賀市域に関する資料を収録する。大正デモクラシー期の市政（市政の開始、市政の混乱、政党と選挙、都市行政の展開）／政党政治期の地域社会（震災後の制度と社会、昭和初頭の地域政治）／農漁業と商業（商業的農業の展開、多様化する漁業、横須賀・浦賀の発達と商業）／近代産業（海軍工廠、浦賀船渠、中小工業と土木請負業、交通機関、電気･ガス･電話事業）／地域と軍事（軍港と周辺都市機能の整備、第一次世界大戦後の変貌）／教育の充実（小学校教育の充実、中等教育機関の設置と発展、各種教育機関の設置、学校沿革史・学校一覧など）／宗教と社会（宗教、市民生活と衛生、災害と救援、社会と風俗）

◆新横須賀市史　別編　文化遺産

横須賀市編・刊（〒238-8550　神奈川県横須賀市小川町11　横須賀市総務部総務課　市史編さん担当　℡046-822-8150）2009年6月　B5　1079頁

2004年から刊行開始された新市史の第7回配本。横須賀市としては初めての報告となる近代化遺産、近代建築、近世建築をはじめ、市域のさまざまな文化遺産を収録する。近代化遺産（総説、各説）／近代建築（総説、各説）／近世建築（はじめに、近世寺社建築、近世寺社建築の個別解説､近世民家)／彫刻（概説、作品解説）／絵画（概説）／金工（仏教工芸、刀剣）／石造物（石造物について、横須賀市域の石塔、銘文集）／総括 横須賀の文化遺産

◆秦野市史綱目事典　CD-ROM版

秦野市刊（〒257-0042　神奈川県秦野市寿町3-12　はだのこども館内　教育委員会生涯学習課文化財班　℡0463-83-8380）2009年3月

秦野市史の手引き書として、これまでに刊行された市史通史編１～５、別編（たばこ・民俗・考古）などから項目を抽出し、内容を要約したダイジェスト版。目次・索引などが使いやすいPDFファイルにして収録する。

◆石川の歴史遺産セミナー講演録「白山」

第1回～第4回

石川県立歴史博物館編・刊（〒920-0963　金沢市出羽町3-1　℡076-262-3236）2009年3月　A4　176頁

平成19年度から「白山」をテーマに開催された石川の歴史遺産セミナー事業の第1回から第4回までを収録した講演録。

刊行に当たって（脇田晴子）

〔第1回　山とくらし―新しい歴史像を求めて〕　文化的景観と歴史遺産(金田章裕)／山村の生活文化と環境―歴史学の視点から(白水智)／山の利用と歴史的景観―白山麓十八ヶ村からみえること(濱岡伸也)

〔第2回　芸能の空間―神事能を中心に〕　中世北陸地方の芸能(山路興造)／白山比咩神社文書から考える北陸の中世芸能(由谷裕哉)／白山と越前猿楽―水海田楽能舞を育んだ土壌(宮永一美)

〔第3回　山村の構造と商品流通〕　山の世界の中世と近世(丸山幸彦)／近世白山麓の商品流通について(長山直治)／史料から見た白山麓のむつしについて(宇佐美孝)

〔第4回　考古学が語る白山信仰の世界〕　白山禅定と男体山禅定―白山山頂遺跡の特質をめぐって(時枝務)／越前馬場―平泉寺を中心に(宝珍伸一郎)／加賀馬場における白山信仰遺跡と白山山頂遺跡群の状況(小阪大)

◆武田氏遺臣の研究

早川春仁著（〒400-0043　山梨県甲府市国母8-5-34　℡055-226-3568）2009年1月　A5　246頁　3800円

「中尾之郷軍役衆」の研究（まえがき、軍役衆名前帳に現れる士の考証、中尾之郷軍役衆の将士間の親族関係、中尾村変遷の概要）／武田氏遺臣及び関連の士の行方（彦根井伊家における武田氏遺臣について、水戸徳川家における武田氏遺臣について、尾張徳川家における武田氏関連の士について、米川上杉家における武田氏関連の士について）／三河から来甲した早川氏の研究（武田家に仕えた藤原姓早川氏について、早川半兵衛の子供達について、土浦藩土屋家の創立と早川氏の関係）／中尾村早川氏の研究（武田氏族早川氏の始祖「早川八郎」考、中尾神社を取巻く早川一族、中尾村早川氏の変遷）／関連史料集

◆招堤村片岡家文書の研究

枚方市史年報別冊

馬部隆弘編　枚方市立中央図書館市史資料室（〒573-1159　大阪府枚方市車塚2-1-1　℡050-7105-8154）2009年3月　B5　92頁

昭和61年の枚方市史完了後も毎年刊行されている『枚方市史年報』別冊として、招堤村片岡家文書に含まれる16世紀から17世紀にかけての書状類118点を収録する。

◆民具歳時記―道具とともに11

往生院民具供養館編・刊（〒579-8061　大阪府東大阪市六万寺町1-22-36　℡072-981-2597）2009年2月　B5　110頁

さまざまな仕事道具の紹介とともに、それらを用いての実演の模様を収録する。昭和を生きた道具たち／父の大工道具(難波利三)／深江菅細工保存会のあゆみ(川口哲秀)／菅笠「深江細工保存会」／菅笠作り工程(深江細工保存会の皆さん)／時計「ゼンマイ仕掛の柱時計」(川口哲秀)／ゼンマイ仕掛の柱時計修理工程(中井春雄氏)／櫛「理容仕上げ櫛」(川口哲秀)／理容仕上げ櫛作り工程(浦田孝一氏)／堺打刃物「刃付け」(川口哲秀)／九寸柳刃製造工程(上田文治氏)／堺打刃物「包丁の柄」(川口哲秀)／包丁の柄作り工程(辰巳勝氏)／郷土料理「押しずし」(川口哲秀)／押しずし作り工程(桜井自治会女性部・桜井太鼓台保存会の皆さん)／郷土料理「鮒の昆布巻き」(川口哲秀)／秋郷祭と鮒の昆布巻き・鮒の昆布巻作り工程(高橋義一・恵美子)／郷土料理「半夏生団子」(川口哲秀)／半夏生団子作り(堀冨子)

◆西宮歴史調査団年報　2007年度版

西宮歴史調査団著　西宮市立郷土資料館編・刊（〒662-0944　兵庫県西宮市川添町15-26　℡0798-33-1298）2009年3月　A4　46頁

西宮市立郷土資料館が実施した文化財調査ボランティア「西宮歴史調査団」の平成19年度における活動記録である。寺院の調査／橋梁の調査／街道の調査／地蔵の調査

◆海士のあれこれ

波多倉志著（島根県隠岐郡海士町）2004年10月（1995年10月初版）A5　25頁　300円

中ノ島(海士町)の主な史蹟を取り上げて紹介した観光ガイド。海士町のあらまし／菱浦港／諏訪港／諏訪の字名について／郡山の遺跡／村上家／後鳥羽天皇御火葬塚／行在所跡／隠岐神社／句碑／海士町歴史民俗資料館／奉納刀打初めの碑／推恵神社／隠岐神社修練道場／飛鳥井少将雅賢住居跡／あまえんぼうの基地／金光寺山／明屋海岸／清水寺／天川／熊野神社／北野神社／御波の横穴墓群及び百墓／奈須神社の石神様／三保神社／御越掛の

石／中良家／寿号の墓／日慎上人／海士の石仏／安国寺／愛宕山／海士の由来／キンニャモニャの由来について

◆被差別民の長崎・学

貿易とキリシタンと被差別部落

阿南重幸編著　ＮＰＯ法人長崎人権研究所編・刊（〒850-0048　長崎市上銭座町2-7　℡095-847-8690）2009年3月　A5　220頁

貿易都市長崎と「かわた」集団―キリスト教と比較流通に関連して（貿易都市長崎の成立と「かわた」集団、対外貿易と長崎・大坂―「かわた」の役割に関連して、対馬藩の牛皮輸入について）／江戸期―皮流通と大坂渡辺村商人―豊後・豊前・筑前・大坂／近世初頭かわた（皮屋）・長吏集団のキリスト教受容（キリスト教伝来から宣教師追放例（1614年）にいたるまで、キリシタン禁制下の迫害期（1614年～1630年代）、キリシタン潜伏期の始まり（1630年代～））／非人と呼ばれた人びと―「犯科帳」にみる非人集団／浦上四番崩れと被差別部落／成長率ゼロの時代を生きた庶民の暮らし　長崎編（藤澤秀雄）

◆日置八幡神社　デオドン（大王殿）再生事業調査研究報告書

森田清美編　デオドン再生事業実行委員会（〒899-3101　鹿児島県日置市日吉町日置日置八幡神社）2009年3月　A4　90頁

鹿児島県日置八幡神社のお田植祭り「せっぺとべ」に登場するデオドンについて、平成20年度に行われた再生事業の経過や民俗学的考察などをまとめる。あいさつ（櫨元直）／デオドン（大王殿）の再生によせて（常田和彦）／デオドン（大王殿）再生事業の意義と無形民俗文化財としての価値（森田清美）／デオドン（大王殿）再生事業実行委員会の構成と経過報告／デオ（大王）面模刻製作過程（出村卓三）／デオ（大王）面について（出村卓三）／デオドン（大王殿）の竹編と諸道具（所崎平）／デオドン（大王殿）四輪台車製作過程（森田清美）／デオドン（大王殿）の衣服と製作過程（牧島知子）／デオドン（大王殿）と竹の文化（川島和昭）／日置八幡神社の古面（出村卓三）／日置八幡神社に関わる民俗芸能（所崎平）／デオドンに関する民俗宗教学的宇察（森田清美）／大王殿完成の祝詞／南日本新聞の報道記事／あとがき（森田清美）

◆後記

今この文章は、住まいに近い独立行政法人 国立病院機構 埼玉病院と言う、舌を噛みそうな名前の病院のベッドで書いている。大病院のお世話になるのは何十年か振りだ。顧客満足度が社会化し始めた頃、客から金を貰って威張っているのは大学と病院だけだと言われた。その病院の変わり様を実感する日々である。執刀医、麻酔医、薬剤師、理学療法士らのアカウンタビリティは懇切を極め、手術時は当然のこと、毎回の投薬、配膳に至るまで、患者確認は徹底している。接遇にも感心する。ロビーには案内が立ち、朝のカウンターは職員一同の起立挨拶で始まる。受診科の窓口では係の方から待合室に出て行って説明する。病棟の看護師は明るく、一人ひとりを気遣い励ましてくれる。尊い仕事である。病室には毎朝清掃が入る。食事の米の旨さにも感激する。だがその陰には、スタッフの過重で不規則な勤務状況や、諸経費削減による苦しい遣り繰りも垣間見える。新政府は高速道路料金の無料化などではなく、住民の命を守り地域医療の中核を担う、こうした所にこそ、税金を重点投下すべきであると思う。大学の改革も進みつつあるがまだ途半ばで、この病院に学ぶところは多い。そう自省しながら休もうと、電動ベッドのリモートスイッチを押すと、「頭が下がります」と電子音が流れた。　（飯澤）

地方史情報 094　2009年（平成21年）12月　発行　http://www.iwata-shoin.co.jp
定価0円（送料90円）年間購読料 税込1000円（送料として）　振替口座00100-2-564137
発行所：岩田書院　〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103　℡03-3326-3757